会長講演（S91）

5 月 25 日（木）8:30〜9:00　第 1 会場
座長　大塚頌子（旭川荘療育・医療センター旭川児童院/顧問医師）
PL　小児脳波の過去・現在・未来
小林勝弘（岡山大学学術研究院医歯薬学域小児医科学分野発達神経病態学領域［小児神経科］）

Yukio Fukuyama Memorial Lecture（S92）

5 月 25 日（木）17:00〜18:00　第 1 会場
Chair　Katsuhiro Kobayashi
（Department of Child Neurology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences）
ML　The developmental and epileptic encephalopathies：from genetic heterogeneity to phenotypic continuum
Renzo Guerrini
（University of Florence and Meyer Children's Hospital, Florence, Italy）

Invited Lecture（S93）

Invited Lecture 1
5 月 25 日（木）9:00〜10:00　第 1 会場
Chair　Hitoshi Osaka（Department of Pediatrics, Jichi Medical University）
IL1　Early Onset Vitamin- and Cofactor-Responsive Encephalopathies and Seizures
Ingrid Tein
（Division of Neurology, Dept. of Pediatrics and Laboratory Medicine and Pathobiology, The Hospital for Sick Children, University of Toronto, Toronto, Ontario, Canada）

Invited Lecture 2
5 月 25 日（木）10:05〜11:05　第 1 会場
Chair　Mitsuhiro Kato（Department of Pediatrics Showa University School of Medicine）
IL2　Genetic and histological analyses reveal new insights into the causes of human cerebellar developmental abnormalities
Kathleen J. Millen
（Center for Integrative Brain Research, Seattle Children's Research Institute and Department of Pediatrics, University of Washington School of Medicine, Seattle, USA）

Invited Lecture 3
5 月 26 日（金）9:30〜10:30　第 1 会場
Chair　Tomoyuki Akiyama
（Department of Child Neurology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences）
IL3　Genetics and Inflammation in Childhood Epilepsy
Derrick Chan
（Senior Consultant, Paediatric Neurology Lead, Paediatric Epilepsy Programme, KKH Clinician Scientist, SingHealth）

Invited Lecture 4
5 月 27 日（土）10:10〜11:10　第 1 会場
Chair　Hiroshi Sakuma（Department of Brain & Neurosciences, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science）
IL4　Biologics in Neuroinflammation：Are We Ready for Precision Medicine?
Eyal Muscal（Pediatric Rheumatology, Baylor College of Medicine, Houston, USA）

特別講演（S100）

特別講演 1

5 月 26 日（金）8:30〜9:30　第 1 会場

座長　中川栄二（国立精神・神経医療研究センター病院）

SL1　次世代の小児てんかん・脳波・小児てんかん外科

大坪　宏（トロント小児病院）

特別講演 2

5 月 26 日（金）10:35〜11:35　第 1 会場

座長　山下裕史朗（久留米大学小児科）

SL2　社会的認知の発達と可塑性・多様性

千住　淳（浜松医科大学子どものこころの発達研究センター）

特別講演 3

5 月 27 日（土）9:00〜10:00　第 1 会場

座長　小林勝弘（岡山大学学術研究院医歯薬学域小児医科学分野発達神経病態学領域［小児神経科］）

SL3　遺伝性神経筋疾患の最近の進歩

石浦浩之（岡山大学脳神経内科）

教育講演（S103）

教育講演 1

5 月 25 日（木）11:10〜11:40　第 1 会場

座長　髙梨潤一（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）

EL1　CNS Interstitial fluidopathy と拡散画像による間質液動態の評価

田岡俊昭（名古屋大学革新的生体可視化技術開発産学協同研究講座）

教育講演 2

5 月 25 日（木）11:40〜12:10　第 1 会場

座長　田沼直之（東京都立府中療育センター小児科）

EL2　AI 技術を用いた画像診断の進歩

藤田広志（岐阜大学工学部電気電子・情報工学科）

教育講演 3

5 月 25 日（木）14:10〜14:40　第 1 会場

座長　橘　雅弥（大阪大学大学院連合小児発達学研究科）

EL3　赤ちゃんはこんなこともわかってる！ ―発達早期の社会的認知―

鹿子木康弘（大阪大学大学院人間科学研究科）

教育講演 4

5 月 25 日（木）14:40〜15:10　第 1 会場

座長　岡　牧郎（国立成育医療研究センターこころの診療部児童・思春期メンタルヘルス診療科）

EL4　小児の心身症診療 ―外来で使える心理検査―

岡田あゆみ（岡山大学学術研究院医歯学域小児医科学分野）

教育講演 5

5 月 25 日（木）15:10〜15:40　第 1 会場

座長　小林勝弘（岡山大学学術研究院医歯薬学域小児医科学分野発達神経病態学領域［小児神経科］）

EL5　小児期脳脊髄液漏出症 ―成人例との共通点と相違点―

守山英二，土本正治（尾道市立市民病院脳神経外科）

教育講演 6

5 月 25 日（木）15:40〜16:10　第 1 会場

座長　白石秀明（北海道大学病院小児科・てんかんセンター）

EL6　小児難治性てんかんの外科治療 ―ベストな脳外科コンサルト―

松尾　健（東京都立神経病院脳神経外科）

教育講演 7

5 月 26 日（金）13:45〜14:15　第 1 会場

座長　月田貴和子（自治医科大学小児科）

EL7　臨床研究はじめの一歩 ―新たなエビデンスを産むための基礎知識―

小林　徹（国立成育医療研究センターデータサイエンス部門）

教育講演 8

5 月 26 日（金）14:15〜14:45　第 1 会場

座長　戸澤雄紀（京都府立医科大学附属病院小児科）

EL8　㊙：競争的資金の獲得法教えます

廣瀬伸一（福岡大学医学部総合医学研究センター）

教育講演 9

5 月 26 日（金）14:45〜15:15　第 1 会場

座長　塩浜　直（千葉大学大学院医学研究院小児病態学）

EL9　形づくりの分子生物学 ―ヘッジホッグシグナルとヒト疾患―

藤井克則（国際医療福祉大学医学部小児科）

教育講演 10

5 月 26 日（金）15:15〜15:45　第 1 会場

座長　秋山倫之（岡山大学学術研究院医歯薬学域小児医科学分野発達神経病態学領域［小児神経科］）

EL10　代謝酵素を標的とする難治性てんかんの新薬開発

井上　剛（岡山大学学術研究院医歯薬学域生物物理化学）

教育講演オンデマンド（S113）

教育講演オンデマンド 1：専門医共通講習・医療倫理

ELO1　医学研究と倫理

堀田勝幸（岡山大学病院新医療研究開発センター）

教育講演オンデマンド 2：専門医共通講習・医療安全

ELO2　わが国における医療安全管理の歴史と現状

塚原宏一（岡山大学学術研究院医歯薬学域小児医科学分野）

教育講演オンデマンド 3：専門医共通講習・感染対策

ELO3　小児の新型コロナウイルス感染症の神経合併症と感染対策

津下　充（岡山大学学術研究院医歯薬学域小児急性疾患学講座）

教育講演オンデマンド 4：小児科領域講習

ELO4　小児神経領域の研究における疫学方法論の応用の可能性

頼藤貴志（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野）

教育講演オンデマンド 5：小児科領域講習

ELO5　重症心身障害の診療

吉永治美（国立病院機構南岡山医療センター小児神経科）

教育講演オンデマンド 6：小児科領域講習

ELO6　小児・思春期の頭痛を診るために知っておきたいこと

山中　岳（東京医科大学小児科・思春期科学分野）

教育講演オンデマンド 7：小児科領域講習

ELO7　小児神経学領域において保険診療で実施する遺伝学的検査

大守伊織（岡山大学学術研究院教育学域）

教育講演オンデマンド 8：小児科領域講習

ELO8　限局性学習症の診断と支援

岡　牧郎（国立成育医療研究センターこころの診療部児童・思春期メンタルヘルス診療科）

教育講演オンデマンド 9：小児科領域講習

ELO9　早産児における神経発達症
竹内章人（国立病院機構岡山医療センター新生児科・小児神経内科）

日本小児神経学会　2023 年度優秀論文賞授賞式・ミニ講演会

5 月 26 日（金）11:35〜12:05　第 1 会場
座長　埜中正博（関西医科大学脳神経外科）

AL-1　The Japanese version of the children's sleep habits questionnaire（CSHQ-J）：A validation study and influencing factors
石井隆大（久留米大学医学部小児科）

AL-2　Incidence and risk factors of acute encephalopathy with biphasic seizures in febrile status epilepticus
一ノ瀬文男（佐賀大学医学部小児科）

有馬正高先生　追悼記念講演会

5 月 26 日（金）18:30〜20:30　第 1 会場
座長　加我牧子
（東京都立東部療育センター名誉院長/国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所名誉所長）
中川栄二
（国立精神・神経医療研究センター病院特命副院長/外来部長/国立精神・神経医療研究センター病院総合てんかんセンター長）

1. 東大小児科神経班と有馬先生
鈴木義之（東京都医学総合研究所特別客員研究員）

2. 東邦大学時代を中心とした有馬正高先生
青木継稔（東邦大学名誉学長）

3. 鳥取大学医学部脳神経小児科初代教授　有馬正高先生
大野耕策（鳥取大学名誉教授/こども発達クリニック院長）

4. 有馬先生に感謝して
黒川　徹（国立病院機構西別府病院/誠愛リハビリテーション病院名誉院長）

5. 枕並べて
埜中征哉（国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長）

6. 米子から小平へ　有馬先生との対話から
高嶋幸男（柳川療育センター名誉センター長）

7. 有馬先生の 3 つの教え
須貝研司（重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎副施設長）

シンポジウム（S122）

シンポジウム 1：マイクロアレイ染色体検査で明らかになる染色体微細構造異常症候群の診療体制を考える
5 月 25 日（木）14:10〜16:10　第 3 会場
座長　山本俊至（東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医科学系専攻遺伝子医学分野）
清水健司（静岡県立こども病院遺伝染色体科（ゲノム医療センター））

S1-01　染色体微細構造異常症候群とは？
清水健司（静岡県立こども病院遺伝染色体科（ゲノム医療センター））

S1-02　マイクロアレイ染色体検査の実際
粟屋智就（京都大学大学院医学研究科形態形成機構学）

S1-03　小児神経疾患と CNV
松本　歩（自治医科大学小児科）

S1-04　研究班による調査結果
今泉太一（聖マリアンナ医科大学小児科，川崎市立多摩病院小児科）

S1-05　染色体微細構造異常症候群の小児から成人への移行期医療の課題
竹内千仙（東京慈恵会医科大学附属病院遺伝診療部）

S1-06　研究班による当事者支援
山本俊至（東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医科学系専攻遺伝子医学分野）

シンポジウム 2：ビタミン B6 依存性てんかんの全て

5 月 25 日（木）10:10〜12:10　第 4 会場

座長　秋山倫之（岡山大学学術研究院医歯薬学域小児医科学分野発達神経病態学領域（小児神経科））
倉橋宏和（愛知医科大学医学部小児科）

S2-01　ビタミン B6 依存性てんかんの臨床像，疫学，診断基準
倉橋宏和（愛知医科大学医学部小児科）

S2-02　ビタミン B6 依存性てんかんの診断
秋山倫之（岡山大学学術研究院医歯薬学域小児医科学分野発達神経病態学領域（小児神経科））

S2-03　低ホスファターゼ症，銀杏中毒におけるビタミン B6 測定の意義
小林大祐（北海道医療大学薬学部衛生薬学講座）

S2-04　PLPBP の生理機能 ―微生物研究から見えてきたこと―
伊藤智和（名古屋大学大学院生命農学研究科）

S2-05　ビタミン B6 依存性てんかんの治療
相場佳織[1]，齋藤伸治[2]
（あいち小児保健医療総合センター神経内科[1]，名古屋市立大学大学院医学研究科新生児小児医学分野[2]）

シンポジウム 3：小児神経領域における漢方治療

5 月 25 日（木）14:10〜15:10　第 4 会場

座長　西村　甲（はね小児科医院）
尾崎裕彦（きりんカームクリニック）

座長導入　西村　甲（はね小児科医院）

S3-01　小児神経科医の私が漢方専門医になった訳
榎　日出夫（川崎医科大学小児科）

S3-02　歴史的エビデンスによる漢方治療に科学的エビデンスが加わった意義
川嶋浩一郎（つちうら東口クリニック，横浜薬科大学）

S3-03　重症心身障害の漢方治療
尾崎裕彦（きりんカームクリニック）

シンポジウム 4：小児重症筋無力症 ―完全寛解は可能である―

5 月 25 日（木）9:50〜12:20　第 8 会場

座長　野村芳子（野村芳子小児神経学クリニック）
酒井康成（九州大学大学院医学研究院成長発達医学（小児科学））

S4-01　はじめに；小児重症筋無力症の臨床的特徴
野村芳子（野村芳子小児神経学クリニック）

S4-02　小児重症筋無力症の治療方針 ―“MG 診療ガイドライン 2022”からのメッセージ―
石垣景子（東京女子医科大学医学部小児科）

S4-03　小児重症筋無力症の免疫学的病態と新規治療薬
稲葉雄二（長野県立こども病院神経小児科）

S4-04　我が国での重症筋無力症病態研究 ―自験例を通して―
林　正俊（市立宇和島病院小児科，医療法人厚仁会老人保健施設養老の里）

S4-05　小児重症筋無力症治療の実際
石垣景子[1]，稲葉雄二[2]，林　正俊[3,4]，野村芳子[5]
（東京女子医科大学医学部小児科[1]，長野県立こども病院神経小児科[2]，市立宇和島病院小児科[3]，医療法人厚仁会老人保健施設養老の里[4]，野村芳子小児神経学クリニック[5]）

シンポジウム 5：てんかん外科治療 up-to-date ―最新のてんかん原性領域診断と QOL を考慮した治療について―

5 月 25 日（木）10:10〜12:10　第 9 会場

座長　植松　貢（東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野）
岩崎真樹（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科）

S5-01　てんかん外科治療を考えるために必要な検査と診断のポイント
本田涼子[1]，小野智憲[2]，島崎　敦[1]，安　忠輝[1]，戸田啓介[3]，馬場啓至[2,4]
（国立病院機構長崎医療センター小児科[1]，国立病院機構長崎医療センター脳神経外科[2]，国立病院機構長崎川棚医療センター脳神経外科[3]，西諫早病院脳神経外科[4]）

S5-02　Epileptogenetic lesion の可視化と Epileptogenic zone の推定
飯島圭哉[1]，佐藤典子[2]，後藤雄一[3]，岩崎真樹[1]
（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科[1]，国立精神・神経医療研究センター病院放射線診療部[2]，国立精神・神経医療研究センターメディカルゲノムセンター[3]）

S5-03　定位的頭蓋内脳波（SEEG）を用いた術前診断の低侵襲化
Hui Ming Khoo[1,2]，谷　直樹[1,2]，押野　悟[1,2]，貴島晴彦[1,2]
（大阪大学医学系研究科脳神経外科[1]，大阪大学医学部附属病院てんかんセンター[2]）

S5-04　小児の島・弁蓋部てんかんに対するラジオ波温熱凝固術
高山裕太郎[1,2]，木村唯子[2]，飯島圭哉[2]，小杉健三[2]，吉富宗健[2]，住友典子[3]，馬場信平[3]，本橋裕子[3]，竹下絵里[3]，齋藤貴志[3]，中川栄二[3]，山本哲哉[1]，岩崎真樹[2]
（横浜市立大学病院脳神経外科[1]，国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科[2]，国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科[3]）

S5-05　ネットワーク障害としてのてんかん原性に対するニューロモデュレーション
國井尚人，嶋田勢二郎，齊藤延人（東京大学脳神経外科）

シンポジウム 6：小児脊髄疾患の基礎と臨床 ―ピットフォールとその対処法―

5 月 25 日（木）14:10～16:10　第 9 会場

座長　藤井克則（国際医療福祉大学医学部小児科）
山中　岳（東京医科大学小児科・思春期科学分野）

S6-01　小児の脊髄梗塞
藤井克則（国際医療福祉大学医学部小児科）

S6-02　小児の炎症性脊髄疾患
チョンピンフィー（九州大学病院小児科）

S6-03　小児脊髄疾患 ―脳神経外科の立場から―
井原　哲（東京都立小児総合医療センター脳神経外科）

シンポジウム 7：乳幼児重症頭部外傷後遺症に対する小児神経科医の役割

5 月 25 日（木）17:00～19:00　第 9 会場

座長　奥村彰久（愛知医科大学医学部小児科）
井原　哲（東京都立小児総合医療センター脳神経外科）

S7-01　乳幼児頭部外傷に対するチーム医療 ―小児神経科医の関わり―
坂口友理[1]，冨田　直[1,2]，幡谷浩史[3]，萩原佑亮[4]，齊藤　修[5]，桜井優子[6]，井口陽子[7]，井原　哲[8]，三山佐保子[1]
（東京都立小児総合医療センター神経内科[1]，東京都立小児総合医療センター在宅診療科[2]，東京都立小児総合医療センター総合診療科[3]，東京都立小児総合医療センター救急救命科[4]，東京都立小児総合医療センター集中治療科[5]，東京都立小児総合医療センター心療内科[6]，東京都立小児総合医療センターリハビリテーション科[7]，東京都立小児総合医療センター脳神経外科[8]）

S7-02　乳幼児重症頭部外傷後遺症に対するリハビリテーション
吉橋　学（神奈川県総合リハビリテーションセンター）

S7-03　乳幼児重症頭部外傷後遺症の慢性期経過
田上幸治（神奈川県立こども医療センター総合診療科）

S7-04　乳幼児重症頭部外傷後遺症に対する髄腔内バクロフェン療法
井原　哲（東京都立小児総合医療センター脳神経外科）

S7-05　小児期重症頭部外傷後てんかんに対するてんかん外科治療
藤本礼尚（聖隷浜松病院てんかんセンター）

シンポジウム 8：限局性学習症の医療と教育 ―学習困難は誰がどのように支援・指導すべきなのか―

5 月 26 日（金）13:45～15:35　第 2 会場

座長　岡　牧郎（国立成育医療研究センターこころの診療部児童・思春期メンタルヘルス診療科）
小枝達也（国立成育医療研究センターこころの診療部）

S8-01　学習困難を抱える児童に対する医療の役割とその課題
岡　牧郎（国立成育医療研究センターこころの診療部児童・思春期メンタルヘルス診療科）

S8-02　学習に困難を示す児童に対する通級指導教室における支援の実際
内田直美（岡山市立横井小学校）

S8-03　放課後等デイサービスにおける学習支援・指導
祇園知克（児童発達支援放課後等デイサービスすたさぽ）

S8-04　算数障害の児童に対する支援・指導 ―算数トレーニングアプリの取り組み―
大羽沢子（鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター）

シンポジウム 9：障害者が地域で安心して暮らせるデジタル田園都市の実現に向けて

5 月 26 日（金）17:00～18:00　第 2 会場

座長　大守伊織（岡山大学学術研究院教育学域）
片岡祐子（岡山大学病院聴覚支援センター）

S9-01　地方が抱える医療課題に挑む
―デジタル田園健康特区における横断的な緊急情報共有システムの実装―
牧　尉太
（岡山大学病院産科婦人科，吉備中央町デジタル田園都市構想推進協議会アーキテクト（医療・福祉））

S9-02　テクノロジーが切り拓く多様性社会の未来像
本多達也（富士通株式会社未来社会＆テクノロジー本部）
S9-03　聴覚障害者のための緊急通知音振動変換装置の開発
片岡祐子（岡山大学病院聴覚支援センター）

シンポジウム 10：脳性麻痺診療アップデート ―第二弾―
5 月 26 日（金）13:45～15:45　第 3 会場
座長　北井征宏（ボバース記念病院小児神経科）
田邉　良（千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科）
S10-01　脳性麻痺の遺伝子はあるのか？
萩野谷和裕（宮城県立こども病院神経科）
S10-02　小児片麻痺リハビリテーションアップデート
香取さやか（北海道立子ども総合医療・療育センター，札幌医科大学）
S10-03　青年期・成人期の脳性麻痺患者におこりやすい身体的合併症
曽根　翠（東京都立東大和療育センターリハビリテーション科）
S10-04　脳性麻痺の成人期を見据えた小児期からの関わり
小倉加恵子
（国立成育医療研究センターこころの診療部，鳥取県子育て人財局，鳥取県立鳥取療育園）

シンポジウム 11：不随意運動の臨床と病態アップデート
5 月 26 日（金）17:00～19:00　第 3 会場
座長　熊田聡子（東京都立神経病院神経小児科）
荒井　洋（ボバース記念病院小児神経科）
S11-01　不随意運動を生じる脳－モデル動物の神経活動から考える
知見聡美，南部　篤（自然科学研究機構生理学研究所生体システム）
S11-02　芳香族アミノ酸脱炭酸酵素欠損症の遺伝子治療後の運動機能改善に係る大脳皮質・大脳基底核ネットワーク
大貫良幸（自治医科大学脳神経外科学講座）
S11-03　脳性麻痺の不随意運動
荒井　洋（ボバース記念病院小児神経科）
S11-04　遺伝性運動異常症の臨床的特徴
柏井洋文（東京都立神経病院神経小児科）

シンポジウム 12：明日から実践 チック・トゥレット症の新しい治療
5 月 26 日（金）17:00～19:00　第 8 会場
座長　福水道郎（昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック）
星野恭子（昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック）
S12-01　心身の発達とチック・トゥレット症の治療
星野恭子（昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック）
S12-02　チックのための CBIT キダメソッドの実際とその効果について
木田哲郎（一般社団法人日本 CBIT 療法協会）
S12-03　マウスピースによるチック症改善とその作用機序
橘　吉寿（神戸大学大学院医学研究科生理学分野）
S12-04　チックに対する閉口経鼻深呼吸法の即時効果及び長期効果
開道貴信（国立病院機構奈良医療センター機能神経外科）

シンポジウム 13：小児免疫性神経疾患の臨床と病態 update
5 月 26 日（金）9:30～11:30　第 9 会場
座長　石山昭彦　（東京都立神経病院神経小児科）
佐久間 啓（東京都医学総合研究所脳・神経科学研究分野こどもの脳プロジェクト）
S13-01　小児の自己免疫性脳炎と自己抗体
佐久間 啓（東京都医学総合研究所脳・神経科学研究分野こどもの脳プロジェクト）
S13-02　小児抗 MOG 抗体関連疾患（MOGAD）の臨床
星野　愛（東京都立神経病院神経小児科）
S13-03　小児の多発性硬化症と類縁疾患
吉良龍太郎（福岡市立こども病院小児神経科）
S13-04　免疫介在性壊死性ミオパチー
漆葉章典（東京都立神経病院脳神経内科）

S13-05　小児の炎症性筋疾患
森　雅亮
（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生涯免疫難病学講座，聖マリアンナ医科大学リウマチ膠原病アレルギー内科）

S13-06　末梢神経チャネロパチーの免疫性神経疾患
石山昭彦（東京都立神経病院神経小児科）

シンポジウム 14：日本遺伝子細胞治療学会-日本小児神経学会（JSGCT-JSCN）連携シンポジウム ―遺伝子治療が拓く難病医療―

5 月 26 日（金）13:45～15:45　第 9 会場

座長　山形崇倫（自治医科大学小児科）
中村貴史（鳥取大学医学部医学科ゲノム再生医学講座）

S14-01　遺伝子細胞治療の現状
森下竜一[1]，中神啓徳[2]
（大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学[1]，大阪大学大学院医学系研究科健康発達医学[2]）

S14-02　ウイルスベクター
村松慎一（自治医科大学神経遺伝子治療部門，東京大学医科学研究所遺伝子細胞治療センター）

S14-03　遺伝子治療がもたらす神経筋疾患治療の新たな潮流 ―若手研究者への期待をこめて―
大津　真（北里大学医学部輸血・細胞移植学）

S14-04　我が国の遺伝子治療関連規制
久米晃啓（自治医科大学附属病院臨床研究センター）

S14-05　遺伝子細胞治療の遺伝カウンセリング
渡邉　淳（金沢大学附属病院遺伝診療部・遺伝医療支援センター）

シンポジウム 15：難病に対する遺伝子治療実用化への展開

5 月 26 日（金）17:00～19:00　第 9 会場

座長　村松一洋　（自治医科大学小児科）
小野寺雅史（国立成育医療研究センター遺伝子細胞治療推進センター）

S15-01　アデノ随伴ウイルス（AAV）ベクターによる遺伝子治療
小坂　仁（自治医科大学小児科）

S15-02　Cost-Effectiveness Analysis of Newborn Screening（NBS）for Spinal Muscular Atrophy（SMA）in Japan
Akira Hata[1]，Akihito Uda[2]，Satoru Tanaka[2]，Diana Weidlich[3]，Walter Toro[4]，Matthias Bischof[5]
（Chiba Foundation for Health Promotion and Disease Prevention, Chiba, Japan[1], Novartis Pharma K.K, Tokyo, Japan[2], Clarivate, Frankfurt, Germany[3], Novartis Gene Therapies, Inc. Bannockburn, IL, USA[4], Novartis Gene Therapies Switzerland GmbH, Rotkreuz, Switzerland[5]）

S15-03　小児神経疾患の AAV 遺伝子治療の実際
小島華林（自治医科大学小児科）

S15-04　レンチウイルスベクターを用いた造血幹細胞遺伝子治療の現状と課題
小林博司（東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター遺伝子治療研究部）

S15-05　神経難病に対するアンチセンス核酸医薬開発の展望と課題
中山東城
（東京医科歯科大学大学院核酸・ペプチド創薬治療研究センター，ハーバード医科大学ボストン小児病院）

S15-06　悪性神経膠腫のウイルス療法の開発
藤堂具紀（東京大学医科学研究所先端医療研究センター先端がん治療分野）

シンポジウム 16：神経放射線医学の最先端と小児神経学への応用

5 月 27 日（土）13:40～15:40　第 1 会場

座長　髙梨潤一（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）
森　　墾（自治医科大学医学部放射線医学講座）

S16-01　小児科領域における脳 MRI 定量解析の臨床応用
塩浜　直（千葉大学大学院医学研究院小児病態学）

S16-02　MR spectroscopy による脳代謝解析最前線
髙梨潤一（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）

S16-03　先進的脳血管イメージング：ASL，4 次元 MRA，血管壁イメージング
上谷浩之（熊本大学大学院生命科学研究部放射線診断学講座）

S16-04　定量的マルチパラメトリック MRI，拡散強調像とミエリンイメージング
藤田翔平（マサチューセッツ総合病院マルティノス医用画像研究センター）

シンポジウム 17：てんかん児の QOL の向上をめざして

5 月 27 日（土）10:10〜12:10　第 2 会場

座長　加賀佳美（山梨大学医学部小児科）
中川栄二（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科）

S17-01　学童期から思春期の PNES（心因性非てんかん発作）へのアプローチ
谷口　豪[1,2]，住友典子[1,3]，原　静和[4]，中川栄二[1,3]
（国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部[1]，国立精神・神経医療研究センター病院精神科[2]，国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科[3]，国立精神・神経医療研究センター病院医療福祉相談部[4]）

S17-02　てんかん児に併存する神経発達症の治療
中川栄二（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科）

S17-03　認知・行動・心理面を見据えた小児てんかん治療戦略
金村英秋（東邦大学医療センター佐倉病院小児科）

S17-04　てんかん児の認知機能と睡眠
加賀佳美（山梨大学医学部小児科）

シンポジウム 18：神経発達症を科学する ―最新知見の update―

5 月 27 日（土）13:40〜15:40　第 2 会場

座長　橘　雅弥（大阪大学大学院連合小児発達学研究科）
水野賀史（福井大学子どものこころの発達研究センター）

S18-01　モデルマウスを用いた自閉スペクトラム症の病態解析と新規診断法の開発
臼井紀好
（大阪大学大学院医学系研究科神経細胞生物学講座，大阪大学大学院連合小児発達学研究科，大阪大学国際医工情報センター，大阪精神医療センターこころの科学リサーチセンター依存症ユニット）

S18-02　被虐待児のエピゲノム
西谷正太[1,2,3]，友田明美[1,2,3,4]
（福井大学子どものこころの発達研究センター[1]，大阪大学大学院連合小児発達学研究科（福井校）[2]，福井大学ライフサイエンスイノベーションセンター[3]，福井大学医学部附属病院子どものこころ診療部[4]）

S18-03　自閉スペクトラム症・言語発達への脳機能画像的アプローチ
吉村優子（金沢大学人間社会研究域，金沢大学子どものこころの発達研究センター）

S18-04　小児期の発達軌跡と神経発達症 ―バースコホートによるアプローチ―
西村倫子[1,2]，土屋賢治[1,2]
（浜松医科大学子どものこころの発達研究センター[1]，大阪大学大学院小児発達学研究科浜松校[2]）

S18-05　児童思春期の ASD 児と保護者に対する認知行動療法「ASD に気づいてケアする CBT（ACAT）」の開発と効果検証
大島郁葉（千葉大学子どものこころの発達教育研究センター）

S18-06　神経発達症臨床レジストリ構築の試み
橘　雅弥（大阪大学大学院連合小児発達学研究科，大阪大学医学系研究科小児科）

Symposium 19：Genetic mimic of cerebral palsy（CP）：emerging evidence

5 月 27 日（土）10:10〜12:10　第 3 会場

Chair　Kyoko Hoshino（Segawa Memorial Neurological Clinic for Children）
Jitendra Kumar Sahu
（Pediatric Neurology Unit, Advanced Pediatric Center, Postgraduate Institute of Medical Education & Research, Chandigarh, India）

S19-01　Cerebral Palsy Mimics：a movement disorders service perspective
Jean-Pierre Lin
(General Neurology & Complex Motor Disorders Service Evelina Children's Hospital, Guy's & St Thomas' NHS Foundation Trust Lambeth Palace Road, London)

S19-02　Unusual eye movements are a diagnostic clue for some “CP mimics”
Toni Pearson（Nationwide Children's Hospital, The Ohio State University College of Medicine）

S19-03　Cerebral Palsy Mimic in India
Jitendra Kumar Sahu
（Pediatric Neurology Unit, Advanced Pediatric Center, Postgraduate Institute of Medical Education & Research, Chandigarh, India）

S19-04　Childhood-onset Hereditary Spastic Paraplegia in the Differential Diagnosis of Cerebral Palsy
Darius Ebrahimi-Fakhari
（Department of Neurology, Boston Children's Hospital, Harvard Medical School）

S19-05　Monogenic CP-like disorders representing Segawa disease
Kyoko Hoshino（Segawa Memorial Neurological Clinic for Children）

シンポジウム 20：免疫学的機序からみたてんかんへの治療戦略に向けて ―基礎と臨床のクロストーク―

5 月 27 日（土）13:40～15:40　第 3 会場

座長　佐久間 啓（東京都医学総合研究所脳・神経科学研究分野こどもの脳プロジェクト）
山中　岳（東京医科大学小児科・思春期科学分野）

S20-01　臨床医からみた，てんかんへの免疫学的アプローチ
山中　岳（東京医科大学小児科・思春期科学分野）

S20-02　重積発作後の脳内サイトカインストームと二次性けいれん発作
伊藤康一（徳島文理大学香川薬学部）

S20-03　頭部外傷後の脳ペリサイト活性化と遅発性けいれん発症
高田芙友子，道具伸也（福岡大学薬学部応用薬剤学）

S20-04　アストロサイトを創薬標的としたてんかん発作抑制の試み
小山隆太（東京大学大学院薬学系研究科）

シンポジウム 21：神経代謝疾患の診断と治療 UPDATE

5 月 27 日（土）10:10～12:10　第 4 会場

座長　秋山倫之（岡山大学学術研究院医歯薬学域小児医科学分野発達神経病態学領域（小児神経科））
小坂　仁（自治医科大学小児科）

S21-01　ビタミン・補酵素関連てんかん
秋山倫之（岡山大学学術研究院医歯薬学域小児医科学分野発達神経病態学領域（小児神経科））

S21-02　治療可能なミトコンドリア病
小坂　仁（自治医科大学小児科）

S21-03　ライソゾーム病
成田　綾（鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科）

S21-04　小児神経伝達物質病
熊田聡子（東京都立神経病院神経小児科）

シンポジウム 22：知っているようで知らない発達性協調運動症

5 月 27 日（土）13:40～15:40　第 4 会場

座長　加賀佳美（山梨大学医学部小児科）
北　洋輔（慶應義塾大学文学部心理学専攻）

S22-01　DCD の診断法 ―鑑別診断も含めて―
柏木　充（市立ひらかた病院小児科）

S22-02　Movement ABC-2 の日本人小児への適用
北　洋輔（慶應義塾大学文学部心理学専攻，ヘルシンキ大学医学部脳認知研究ユニット）

S22-03　DCD 児への作業療法
岩永竜一郎（長崎大学生命医科学域）

S22-04　ヒトの協調運動の認知的メカニズム
樋口貴広（東京都立大学人間健康科学研究科ヘルスプロモーションサイエンス学域）

シンポジウム 23：成人診療科と連携した小児期発症神経筋疾患の移行医療（日本神経学会小児－成人移行医療対策特別委員会）

5 月 27 日（土）10:10～12:10　第 8 会場

座長　齊藤利雄（国立病院機構大阪刀根山医療センター小児神経内科，日本神経学会小児－成人移行医療対策特別委員会）
尾方克久（国立病院機構東埼玉病院神経内科，日本神経学会小児―成人移行医療対策特別委員会）

S23-01　神経系疾患を対象とする小児－成人移行医療の概観
尾方克久
（国立病院機構東埼玉病院神経内科，日本神経学会小児－成人移行医療対策特別委員会，日本難病医療ネットワーク学会小児－成人移行医療特別委員会）

S23-02　小児神経学会が，成人診療科の学会と連携するにはどうしたらよいか
宮本雄策（聖マリアンナ医科大学小児科）

S23-03　脳神経内科医に求められる移行医療
望月秀樹（大阪大学大学院医学系研究科神経内科学）

S23-04　神経学会会員アンケート調査から見えてきたもの
齊藤利雄
（国立病院機構大阪刀根山医療センター小児神経内科，日本神経学会小児－成人移行医療対策特別委員会）

S23-05　小児期発症の神経疾患の特殊性を考慮した移行 ―どう転科・転院，併診するか
鈴木保宏（大阪母子医療センター小児神経科，大阪府移行期医療支援センター）

シンポジウム 24：West 症候群（乳児てんかん性スパズム症候群）への新しいアプローチ

5 月 27 日（土）10:10〜12:10　第 9 会場

座長　岡西　徹（鳥取大学医学部脳神経医科学分野脳神経小児科）
藤本礼尚（聖隷浜松病院てんかんセンター）

S24-01　画像解析からみた West 症候群の病態
夏目　淳（名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座）

S24-02　West 症候群（乳児てんかん性スパズム症候群）の遺伝学的背景
倉橋宏和（愛知医科大学医学部小児科）

S24-03　乳児てんかん性スパズム症候群の予後予測を目的とした脳波解析
金井創太郎[1]，大栗聖由[2]，岡西　徹[1]，前垣義弘[1]
（鳥取大学医学部脳神経小児科[1]，香川県立医療保健大学保健医療学部臨床検査学科[2]）

S24-04　West 症候群に対する外科的治療の考え方
本田涼子[1]，小野智憲[2]，島崎　敦[1]，安　忠輝[1]，戸田啓介[3]，馬場啓至[2,4]
（国立病院機構長崎医療センター小児科[1]，国立病院機構長崎医療センター脳神経外科[2]，国立病院機構長崎川棚医療センター脳神経外科[3]，西諫早病院脳神経外科[4]）

シンポジウム 25：小児の睡眠障害の治療戦略

5 月 27 日（土）10:10〜12:10　第 10 会場

座長　木村重美
（兵庫県立リハビリテーション中央病院子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター）
福水道郎（昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック）

導入　木村重美
（兵庫県立リハビリテーション中央病院子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター）

S25-01　乳幼児期睡眠障害の治療戦略
福水道郎
（昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック，国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部）

S25-02　日中の過眠
毛利育子（大阪大学大学院連合小児発達学研究科）

S25-03　学童期の概日リズム睡眠覚醒障害の治療戦略
木村重美
（兵庫県立リハビリテーション中央病院子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター）

S25-04　肢体不自由児と奇形症候群の睡眠障害
田中　肇（北海道立旭川子ども総合療育センター小児科）

シンポジウム 26：小児神経疾患の姿勢・運動機能評価 ―名人の技からコンピュータ技術まで―

5 月 27 日（土）13:40〜15:40　第 10 会場

座長　夏目　淳（名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座）
萩野谷和裕（宮城県立こども病院神経科）

S26-01　発達期脳性運動障害症候（横地）の見方
横地健治（豊橋市民病院）

S26-02　治療的介入を目指した姿勢・運動の評価
荒井　洋（ボバース記念病院小児神経科）

S26-03　新生児期・乳児の発達評価：general movements 評価法
前田知己（大分大学医学部小児科）

S26-04　三次元動作解析装置を用いた小児神経疾患の歩行解析
伊藤祐史（名古屋大学大学院医学系研究科小児科，愛知県三河青い鳥医療療育センター小児科）

シンポジウム 27：自閉スペクトラム症の premature phenotype を科学する

5 月 27 日（土）10:10〜12:10　第 11 会場

座長　竹内章人（国立病院機構岡山医療センター新生児科・小児神経内科）
高橋立子（東北文化学園大学総合発達研究センター国見の杜クリニック）

S27-01　ハイリスク早産児の発達経過：単一施設における 9 年間の前向き観察
鳥尾倫子（福岡市立こども病院総合診療科，九州大学病院小児科）

S27-02　超早産児に生じる脳障害の新規マウスモデルの解析
久保健一郎[1,2]，園田愛莉[2]，角田安優[2]，植松優毅[1]，内藤　礼[1]，稲見元太[1]，森本桂子[2]，林　周宏[2]，吉永怜史[1,2]，北澤彩子[1,2]，井上　健[3]，出口貴美子[2,4]，仲嶋一範[2]
（東京慈恵会医科大学解剖学[1]，慶應義塾大学医学部解剖学[2]，国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部[3]，日本大学小児科[4]）

S27-03　脳変容から紐解く早産児自閉スペクトラム症の病態
白木杏奈（名古屋大学大学院医学系研究科小児科）

S27-04　早産児の自閉スペクトラム症の臨床的特徴とリスク因子
永井幸代（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院）

S27-05　視覚認知機能の発達からみる早産児自閉スペクトラム症の特徴 ―Preterm Behavioral Phenotype の早期発見に貢献するために―
出口貴美子[1,2,3]，日高欣哉[1]，中村晃子[1]，山瀬聡一[2]，石井和嘉子[2]，岡橋　彩[2]，長野伸彦[2]，西田佳史[6]，松崎敦子[5]，山口真美[7]，金沢　創[8]，森岡一朗[2]，井上　健[4]
（キッズ & ファミリークリニック出口小児科医院[1]，日本大学医学部小児科学系小児科学分野[2]，慶應義塾大学医学部解剖学教室[3]，国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部[4]，三育学院大学看護学部[5]，東京工業大学[6]，中央大学文学部心理学研究室[7]，日本女子大学人間社会学部心理学科[8]）

シンポジウム 28：ゲノム解析時代の小児神経診療
5 月 27 日（土）13:40～15:40　第 11 会場
座長　齋藤伸治（名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野）
武内俊樹（慶應義塾大学医学部小児科）

S28-01　ゲノム解析最前線：ここまで診断できる小児神経疾患
三宅紀子（国立国際医療研究センター研究所疾患ゲノム研究部）

S28-02　遺伝学的診断の進め方：染色体アレイ解析から全ゲノム解析まで
山本俊至
（東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医科学系専攻遺伝子医学分野，東京女子医科大学ゲノム診療科）

S28-03　ゲノム解析で多因子遺伝に挑む：多因子遺伝を対象とした precision medicine は可能か
高田　篤（理化学研究所脳神経科学研究センター）

スポンサードシンポジウム（S206）

スポンサードシンポジウム：SMA 診療の発展と課題（共催：中外製薬株式会社）
5 月 26 日（金）16:30～18:00　第 1 会場
座長　小牧宏文（国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター）

SS-1　脊髄性筋萎縮症における診療の発展
齋藤加代子（東京女子医科大学ゲノム診療科）

SS-2　脊髄性筋萎縮症における評価方法の工夫
弓削康太郎（久留米大学医学部小児科学講座）

SS-3　新生児マススクリーニングの現状と乳幼児健診での取り組み
下村英毅（兵庫医科大学小児科学）

学会委員会主催セミナー（S208）

脳と発達編集委員会，B&D 編集委員会，倫理委員会合同主催セミナー：論文査読不正に学会としてどう対応すべきか？
5 月 25 日（木）19:00～20:00　第 1 会場
座長　山本俊至（東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医科学系専攻遺伝子医学分野）
小林勝弘（岡山大学学術研究院医歯薬学域小児医科学分野発達神経病態学領域（小児神経科））

CS1-01　Protecting independent and robust peer-review procedures for scientific and medical research - the perspective of a publisher
Mihail Grecea（Publishing Ethics Expert, Elsevier）

CS1-02　報道の立場から見た査読不正
鳥井真平（毎日新聞科学環境部）

CS1-03　アカデミアの仕組みは論文査読不正に対応できるのか
長神風二（東北大学東北メディカル・メガバンク機構）

ガイドライン委員会主催セミナー：わが国の出血性ショック脳症症候群（HSES）を再考する
5 月 25 日（木）14:10～16:10　第 2 会場
座長　髙梨潤一（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）
前垣義弘（鳥取大学医学部脳神経小児科）

CS2-01　出血性ショック脳症症候群（HSES）診療の問題点 overview
髙梨潤一（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）

CS2-02　日本国外における出血性ショック脳症症候群
奥村彰久（愛知医科大学医学部小児科）

CS2-03　我が国における出血性ショック脳症症候群（HSES）の臨床像
九鬼一郎（大阪市立総合医療センター小児脳神経内科）
CS2-04　COVID-19 関連出血性ショック脳症症候群（HSES）
佐久間 啓[1]，村松一洋[2]，鈴木基正[3]，髙梨潤一[4]
（東京都医学総合研究所脳・神経科学研究分野[1]，自治医科大学小児科[2]，あいち小児保健医療総合センター神経科[3]，東京女子医科大学八千代医療センター小児科[4]）
CS2-05　我が国における出血性ショック脳症症候群（HSES）の病態と治療
西山将広[1,2]，徳元翔一[2]，山口　宏[2]，冨岡和美[2]，石田悠介[1]，丸山あずさ[1]，永瀬裕朗[2]
（兵庫県立こども病院神経内科[1]，神戸大学大学院医学研究科小児科[2]）
CS2-06　国内外の出血性ショック脳症症候群（HSES）の比較からみえてくるもの，今後の課題
阿部裕一（国立成育医療研究センター神経内科）

災害対策委員会主催セミナー：災害時に人工呼吸器装着児をみんなで守ろう ―災害時小児呼吸器地域ネットワーク―
5 月 25 日（木）14:10～16:10　第 8 会場
座長　木村重美
（兵庫県立リハビリテーション中央病院子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター）
小篠史郎（熊本大学病院小児科（兼任小児在宅医療支援センター））
導入　災害時小児呼吸器地域ネットワークの概要
木村重美
（兵庫県立リハビリテーション中央病院子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター）
CS3-01　病院から発信する医療的ケア児の災害対策 ―行政機関と共に―
中村裕子[1]，吉岡早戸[2]，上田敬博[2]，本間正人[2]，前垣義弘[1]
（鳥取大学医学部脳神経小児科[1]，鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センター[2]）
CS3-02　災害時に備えた在宅人工呼吸器装着児の地域ネットワーク構築への取り組みについて
東田好広（徳島大学病院小児科）
CS3-03　熊本県における医療的ケア児災害対策
小篠史郎（熊本大学病院小児在宅医療支援センター，熊本県医療的ケア児支援センター）
CS3-04　千葉県小児災害ネットワーク（CPD-Net）の活動
石井光子（千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科）
CS3-05　地域格差と切れ目のない支援を目指して【いわてチルドレンズヘルスケア連絡会議】災害時の取り組み
赤坂真奈美（岩手医科大学小児科）

薬事小委員会主催セミナー：小児神経領域薬剤の薬物依存を検討する
5 月 25 日（木）17:00～18:30　第 8 会場
座長　中川栄二（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科）
石垣景子（東京女子医科大学医学部小児科）
CS4-01　難治性てんかんにおけるカンナビジオール導入における期待と問題点
中川栄二（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科）
CS4-02　人はなぜ薬物依存症になるのか
松本俊彦（国立精神・神経医療研究センター）
CS4-03　CBD の規制の現状と大麻規制検討小委員会でのとりまとめについて
竹内大輔（厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課）

国際化推進委員会主催セミナー：キャリア形成において国際貢献をするという選択肢
5 月 26 日（金）13:45～15:45　第 4 会場
座長　石原尚子（藤田医科大学医学部小児科）
大守伊織（岡山大学学術研究院教育学域）
CS5-01　低中所得国の障害を持つ子どもたちの課題と支援
神谷保彦（長崎大学熱帯医学グローバルヘルス研究科）
CS5-02　血縁共同体を超える開かれた相互扶助
菅波　茂（特定非営利活動法人アムダ）
CS5-03　国際貢献という選択肢を地域開業小児科医の視点から考察する ―世界の子どもの健康と幸せを中心において
髙杉尚志
（医療法人髙杉会髙杉こどもクリニック，特定非営利活動法人アムダ，特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構）

社会活動委員会主催セミナー 1：患者家族会と語ろう！ ―医療の原点と患者家族とのつながり―

5 月 26 日（金）17:00～18:30　第 4 会場

座長　藤井克則（国際医療福祉大学医学部小児科）
宮本雄策（聖マリアンナ医科大学小児科）

CS6-01　国内と海外の患者家族会の役割：本学会との連携推進に向けて
加藤光広（昭和大学医学部小児科，昭和大学病院てんかん診療センター）

CS6-02　重症児者に支えられて
小山京子（全国重症心身障害児（者）を守る会会長代行）

CS6-03　難治性てんかん・ドラベ症候群の患者家族の現実と願い
黒岩　ルビー（ドラベ症候群患者家族会）

医療安全委員会主催セミナー：けいれん・てんかん児の医療機関外における医療安全

5 月 26 日（金）9:30～11:30　第 8 会場

座長　伊藤　進（東京女子医科大学小児科）
宮田理英（東京北医療センター小児科）

説明　伊藤　進（東京女子医科大学小児科）

CS7-01　保育・教育機関におけるけいれん・てんかん児の実態調査
伊藤　進[1,2,3]，黒岩ルビー[2]，本田香織[3]
（東京女子医科大学小児科[1]，ドラベ症候群患者家族会[2]，ウエスト症候群患者家族会[3]）

CS7-02　医療機関外におけるミダゾラム「口腔用液」使用の実態調査
星出まどか[1,2]，伊藤　進[2,3]，是松聖悟[2,4]，下川尚子[2,5]，宮田理英[2]，井原　哲[2]，石井光子[2]，渡辺好宏[2]，福井美保[2]，里　龍晴[2]，守本倫子[2]，宮本雄策[2]，三牧正和[2]，山中　岳[2]，山内秀雄[2]，村松一洋[2]，竹島泰弘[2,6]
（山口大学小児救急地域医療[1]，日本小児神経学会医療安全委員会[2]，東京女子医科大学小児科[3]，埼玉医科大学総合医療センター小児科[4]，久留米大学医学部脳神経外科学講座[5]，兵庫医科大学小児科[6]）

CS7-03　教育機関等におけるけいれん時の対応
是松聖悟（埼玉医科大学総合医療センター小児科）

CS7-04　教育機関等におけるてんかん児の学校生活管理
石井光子（千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科）

共同研究推進委員会主催セミナー：トランスレーショナル・リサーチのすすめ

5 月 26 日（金）13:45～15:45　第 8 会場

座長　小坂　仁（自治医科大学小児科）
遠山　潤（国立病院機構西新潟中央病院神経小児科）

CS8-01　ATR-X 症候群に対する医師主導治験への道のり
和田敬仁（京都大学大学院医学研究科ゲノム医療学講座）

CS8-02　DNA/RNA2 本鎖ヘテロ核酸の開発
横田隆徳（東京医科歯科大学脳神経内科）

CS8-03　HAM に対する疾患レジストリーを活用した創薬の推進
山野嘉久（聖マリアンナ医科大学内科学脳神経内科）

社会活動委員会主催セミナー 2：医療的ケア児支援法公布後の，学校における医療的ケアの課題と対応について

5 月 27 日（土）10:10～12:10　第 5 会場

座長　**米山　明（全国心身障害児福祉財団全国療育相談センター）**　座長変更
小篠史郎（熊本大学病院小児科（兼任小児在宅医療支援センター））

CS9-01　医療的ケアの現状と課題
小篠史郎（熊本大学病院小児在宅医療支援センター，熊本県医療的ケア児支援センター）

CS9-02　学校における医療的ケアの現状
菅野和彦（文部科学省初等中等教育局）

CS9-03　医療的ケア児支援法施行後の学校における医療的ケアの課題と対応について
荒木　敦（大阪旭こども病院）

CS9-04　医療的ケア児支援法における「保護者の付添いがなくても」への対応と課題 ―青森県における取り組み―
網塚貴介[1,2]，大瀧　潮[1,2]（青森県立中央病院[1]，青森県小児在宅支援センター[2]）

CS9-05　開業医，訪問診療医として地域の医療的ケア児を支援する
緒方健一（おがた小児科内科医院）

社会保険小委員会主催セミナー：遺伝学的検査の適応拡大に向けて

5 月 27 日（土）13:40〜15:40　第 5 会場

座長　中川栄二（国立精神・神経医療研究センター病院）
田沼直之（東京都立府中療育センター小児科）

オーバービュー　セミナーの企画意図
田沼直之（東京都立府中療育センター小児科）

CS10-01　難病の遺伝学的検査
黒澤健司（神奈川県立こども医療センター遺伝科）

CS10-02　てんかんの遺伝学的検査
竹下絵里（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科）

CS10-03　遺伝学的検査の受託機関から見た今後の課題
小原　收（かずさ DNA 研究所ゲノム事業推進部）

実践教育セミナー（S234）

実践教育セミナー 1：骨格筋画像を学ぶ

5 月 24 日（水）12:30〜14:30　第 2 会場

座長　石垣景子（東京女子医科大学医学部小児科）
小牧宏文（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター）

PES1-01　骨格筋画像の基本と活用法
石垣景子（東京女子医科大学医学部小児科）

PES1-02　成人の神経筋疾患における骨格筋画像の活用方法
森　まどか（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科）

PES1-03　小児の神経原性疾患の骨格筋画像
本橋裕子（国立精神・神経医療研究センター）

PES1-04　小児の筋原性疾患の骨格筋画像
佐藤孝俊（東京女子医科大学小児科）

実践教育セミナー 2：神経小児科医のためのてんかん発作診断とその鑑別疾患

5 月 24 日（水）14:45〜16:45　第 2 会場

座長　遠山　潤（国立病院機構西新潟中央病院神経小児科）
本田涼子（国立病院機構長崎医療センター小児科）

PES2-01　神経小児科医のためのてんかん発作診断とその鑑別疾患
白石秀明（北海道大学病院小児科・てんかんセンター）

PES2-02　てんかん外科手術を考える時に必要な発作徴候
本田涼子（国立病院機構長崎医療センター小児科）

PES2-03　てんかん発作と鑑別すべき疾患や事象とその症状
遠山　潤（国立病院機構西新潟中央病院神経小児科）

実践教育セミナー 3：脳性麻痺診療に役立つ基礎的，実践的知識を学ぶ

5 月 24 日（水）17:00〜19:00　第 2 会場

座長　荒井　洋（ボバース記念病院院長，ボバース記念病院小児神経科）
丸山幸一（愛知県医療療育総合センター中央病院小児神経科）

PES3-01　脳性麻痺を正しく診断する —病歴，頭部 MRI，診察のポイント—
北井征宏（ボバース記念病院小児神経科）

PES3-02　脳性麻痺を効果的に治療する —小児に対するボツリヌス療法の実際—
根津敦夫（横浜医療福祉センター港南神経小児科）

PES3-03　脳性麻痺児とその家族の生活を支える —身体障害者手帳診断書・意見書記載の留意点や補装具費支給制度について—
相崎貢一（シャーロットこども発達クリニック）

PES3-04　多職種と有機的に連携する —With コロナ時代の多職種連携の工夫—
門野　泉[1]，丸山幸一[2]，三浦清邦[2]
（愛知県医療療育総合センター中央病院リハビリテーション診療科[1]，愛知県医療療育総合センター中央病院小児神経科[2]）

実践教育セミナー 4：若きレジェンドたちの頭痛外来，拝見！
5 月 24 日（水）12:30〜14:30　第 3 会場
座長　西村　陽（京都第一赤十字病院小児科・新生児科）
下村英毅（兵庫医科大学医学部小児科）
PES4-01　成人の頭痛外来（薬剤の使用過多による頭痛）
【講義】　石井亮太郎（京都府立医科大学脳神経内科学）
【外来実演】医師役　：石井亮太郎（京都府立医科大学脳神経内科学）
患者役　：石原靖紀（福井愛育病院小児科）
PES4-02　小児・思春期の頭痛外来＜朝起きられず，いつも頭が痛い＞
【講義】　呉　宗憲（東京医科大学病院小児科・思春期科）
【外来実演】医師役　：呉　宗憲（東京医科大学病院小児科・思春期科）
患者母親役：松下浩子（JCHO 大阪病院小児科）
患者息子役：森岡茂己（京都第二赤十字病院小児科）

実践教育セミナー 5：「小児緩和ケア」を実践する
5 月 24 日（水）14:45〜16:45　第 3 会場
座長　吉良龍太郎（福岡市立こども病院小児神経科）
岡崎　伸　（大阪市立総合医療センター小児脳神経内科）
Opening Remark　「小児緩和ケア」を実践する
吉良龍太郎（福岡市立こども病院小児神経科）
PES5-01　こどもの症状を捉えて，介入する
余谷暢之（国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科）
PES5-02　難しい場面での家族とのコミュニケーション
岡崎　伸（大阪市立総合医療センター小児脳神経内科）
PES5-03　いのちに関わる治療方針についてどのように話し合うか
笹月桃子（西南女学院大学保健福祉学部，九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野）

実践教育セミナー 6：小児科医のための神経画像 2023 ―脳から脊髄の小児正常像と画像診断―
5 月 24 日（水）17:00〜19:00　第 3 会場
座長　髙梨潤一（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）
大場　洋（帝京大学医学部放射線科）
PES6-01　大脳の正常像と画像診断
前田正幸（三重大学大学院医学系研究科地域支援神経放射線診断学講座）
PES6-02　基底核・間脳の正常像と画像診断
大場　洋（帝京大学医学部放射線科）
PES6-03　脳幹・小脳の正常像と画像診断
森　　墾（自治医科大学医学部放射線医学講座）
PES6-04　脊椎・脊髄の正常像と画像診断
榎園美香子（東京都立小児総合医療センター放射線科）

実践教育セミナー 7：普段は聴けない脳波のお話 ―少しアドバンスドな脳波知識―
5 月 24 日（水）12:30〜14:30　第 4 会場
座長　岡西　徹（鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科）
岡成和夫（大分県立病院小児科）
PES7-01　てんかん性異常波とまぎらわしい脳波所見
岡成和夫（大分県立病院小児科）
PES7-02　aEEG を中心とした脳波トレンドの読み方と臨床的意義
山本啓之（名古屋大学医学部附属病院小児科）
PES7-03　脳波の周波数解析とその意義について ―脳波解析の方法と実践例―
大栗聖由[1]，岡西　徹[2]，前垣義弘[2]
（香川県立保健医療大学保健医療学部臨床検査学科[1]，鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科[2]）
PES7-04　小児てんかんの発作時脳波を読み解く
伊藤　進（東京女子医科大学小児科）

実践教育セミナー 8：誤診から学ぶ（4）
5 月 24 日（水）14:45〜16:45　第 4 会場
座長　久保田雅也（島田療育センター小児科）
杉田克生　（千葉市療育センター小児神経科）
PES8-01　急性脳症と臨床的脳死判定，遅れて出てくる体動の意義
久保田雅也（島田療育センター小児科）

PES8-02　誤診をめぐる歴史から学ぶ
杉田克生（千葉市療育センター小児神経科）
PES8-03　日米における誤診の構造の違い ―小児神経領域から―
久本佳美，久保田雅也（島田療育センター小児科）
PES8-04　見逃し症例から学ぶ－市中病院脳神経内科での経験
福武敏夫（亀田メディカルセンター脳神経内科）

実践教育セミナー 9：エキスパートから学ぼう！　遺伝学的検査結果の上手な伝え方
5 月 24 日（水）17:00～19:00　第 4 会場
座長　戸澤雄紀（京都府立医科大学附属病院小児科）
武内俊樹（慶應義塾大学医学部小児科）
PES9-01　マイクロアレイ染色体検査の結果説明
千代延友裕（京都府立医科大学附属病院遺伝子診療部）
PES9-02　網羅的遺伝子解析で得られるバリアントの解釈と家族への説明
武内俊樹（慶應義塾大学医学部小児科）
PES9-03　「伝えにくいことを伝え，決めにくいことを決める」遺伝学的検査と遺伝カウンセリング
池田（谷口）真理子（藤田医科大学病院臨床遺伝科）
PES9-04　ミトコンドリア遺伝子異常
三牧正和（帝京大学医学部小児科）

実践教育セミナー 10：第10回遺伝学実践教育セミナー ―マイクロアレイ染色体検査およびエクソーム解析結果を解釈する―
5 月 24 日（水）12:30～14:30　第 5 会場
講師　齋藤伸治（名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野）
山本俊至（東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医科学系専攻遺伝子医学分野）
酒井康成（九州大学大学院医学研究院成長発達医学（小児科学））
小坂　仁（自治医科大学小児科）
和田敬仁（京都大学医学研究科ゲノム医療学講座（産学共同））
高野亨子（信州大学医学部遺伝医学）
チューター
吉田健司（京都大学小児科）
岡崎哲也（鳥取大学遺伝子診療科）
チョンピンフィー（九州大学病院小児科）
松本　歩（自治医科大学小児科）
東　慶輝（愛知医科大学小児科）
中村勇治（名古屋市立大学小児科）

実践教育セミナー 11：エキスパートと話す，私達の医学研究 ―基礎研究 & 臨床研究 キャリア相談会―
5 月 24 日（水）14:45～16:45　第 5 会場
座長　村松一洋（自治医科大学小児科）
粟屋智就（京都大学大学院医学研究科形態形成機構学講座，がん組織応答共同研究講座）
てんかんの病態研究
日暮憲道（慈恵会医科大学小児科）
画像研究領域
岡西　徹（鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科）
筋疾患領域
石垣景子（東京女子医科大学医学部小児科）
遺伝子治療からみえた新規治療開発の道
小島華林（自治医科大学小児科）
新生児・発達領域
水野賀史（福井大学子どものこころの発達研究センター）
稀少疾患（遺伝・先天異常）領域
吉田健司（京都大学大学院医学研究科発達小児科）

ランチョンセミナー（S260）

ランチョンセミナー 1（共催：武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス）
5 月 25 日（木）12:30〜13:20　第 2 会場
アップデートされた ADHD の診断・治療ガイドラインに基づく適切な ADHD の診断と治療を考える
座長　飯田順三（医療法人南風会万葉クリニック子どものこころセンター絆）
LS1-1　アップデートされたガイドラインにおける ADHD の診断・評価
太田豊作（奈良県立医科大学医学部看護学科人間発達学）
LS1-2　小児期における注意欠如・多動症（ADHD）の薬物療法―ガイドラインをどう読み解くか
岡田　俊
（国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部）

ランチョンセミナー 2（共催：中外製薬株式会社）
5 月 25 日（木）12:30〜13:20　第 3 会場
座長　石垣景子（東京女子医科大学小児科学）
LS2　脊髄性筋萎縮症に対する疾患修飾薬と呼吸リハビリテーション
石川悠加（国立病院機構北海道医療センター）

ランチョンセミナー 3（共催：ノバルティスファーマ株式会社）
5 月 25 日（木）12:30〜13:20　第 4 会場
脊髄性筋萎縮症（SMA）に対する遺伝子治療 ―最近の話題―
座長　齋藤加代子（東京女子医科大学ゲノム診療科）
LS3-1　オナセムノゲンアベパルボベクの臨床試験から見えてくること
齋藤加代子（東京女子医科大学ゲノム診療科）
LS3-2　脊髄性筋萎縮症の遺伝子治療の実際と早期治療導入への挑戦
木水友一（大阪母子医療センター小児神経科）

ランチョンセミナー 4（共催：ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディパルホールディングス）
5 月 25 日（木）12:30〜13:20　第 5 会場
座長　夏目　淳（名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座）
LS4　結節性硬化症診療 up to date 2023 ―てんかん，TAND と睡眠，皮膚病変について―
岡西　徹（鳥取大学医学部脳神経小児科学分野）

ランチョンセミナー 5（共催：中外製薬株式会社）
5 月 25 日（木）12:30〜13:20　第 6 会場
座長　小牧宏文（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナルメディカルセンター）
LS5　Early diagnosis and care of young individuals with Duchenne muscular dystrophy：Challenges in patient management
Craig Zaidman
（Department of Neurology, Washington University School of Medicine, St. Louis, MO, USA）

ランチョンセミナー 6（共催：ヤンセンファーマ株式会社）
5 月 25 日（木）12:30〜13:20　第 7 会場
座長　市川宏伸（草思会錦糸町クボタクリニック）
LS6　精神疾患の診断・統計マニュアル第 5 版新訂版の記述から紐解く小児期の注意欠如・多動症の鑑別診断と併存疾患
野村健介（社会福祉法人日本心身障害児協会島田療育センター）

ランチョンセミナー 7（共催：武田薬品工業株式会社）
5 月 25 日（木）12:30〜13:20　第 9 会場
ゴーシェ病・てんかん重積状態の診断と治療
座長　酒井規夫（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻成育小児科学）
LS7-1　小児神経内科医なら知っておきたいゴーシェ病の早期診断のメリットと方法
田中　学（埼玉県立小児医療センター総合診療科）
LS7-2　学校等におけるてんかん重積状態でのブコラム投与について
中川栄二（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

ランチョンセミナー 8（共催：エーザイ株式会社）
5 月 26 日（金）12:40〜13:30　第 1 会場
座長　奥村彰久（愛知医科大学小児科）
LS8　発作性疾患への症候学的アプローチ
榎 日出夫（川崎医科大学小児科）

ランチョンセミナー 9（共催：第一三共株式会社/ユーシービージャパン株式会社）
5 月 26 日（金）12:40〜13:30　第 2 会場
座長　山内秀雄（埼玉医科大学医学部小児科）
LS9　神経発達症を合併する小児てんかん —こどもの QOL 向上を目指した治療マネジメント—
石原尚子（藤田医科大学医学部小児科）

ランチョンセミナー 10（共催：中外製薬株式会社）
5 月 26 日（金）12:40〜13:30　第 3 会場
座長　小坂　仁（自治医科大学小児科）
LS10　脊髄性筋萎縮症治療薬処方とともに私たちができること
荒川玲子（国立国際医療研究センター病院臨床ゲノム科）

ランチョンセミナー 11（共催：アレクシオンファーマ合同会社）
5 月 26 日（金）12:40〜13:30　第 4 会場
原因不明のてんかん・歩容異常に潜む治療可能な希少疾患 —低ホスファターゼ症—
座長　秋山倫之（岡山大学学術研究院医歯薬学域小児医科学分野発達神経病態学領域）
LS11-1　HPP の歯科的所見と医科歯科連携の現状
仲野和彦（大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学講座）
LS11-2　低ホスファターゼ症の多彩な症状の理解 —早期診断のために—
大薗恵一（大阪大学）

ランチョンセミナー 12（共催：ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディパルホールディングス）
5 月 26 日（金）12:40〜13:30　第 5 会場
座長　高橋孝雄（慶應義塾大学 名誉教授）
LS12　神経発達症の診療に睡眠医学的視点を活かす
三島和夫（秋田大学大学院医学系研究科精神医学講座）

ランチョンセミナー 13（共催：日本新薬株式会社）
5 月 26 日（金）12:40〜13:30　第 6 会場
座長　浜野晋一郎（埼玉県立小児医療センター）
LS13　ドラベ症候群における新規治療
今井克美（NHO 静岡てんかん・神経医療センター）

ランチョンセミナー 14（共催：クリニジェン株式会社）
5 月 26 日（金）12:40〜13:30　第 7 会場
座長　白石秀明（北海道大学小児科）
LS14-1　マススクリーニングを契機に診断され，酵素補充療法を導入したムコ多糖症 II 型兄弟例
江川　潔（北海道大学小児科）
LS14-2　酵素補充療法の新たな挑戦：中枢神経症状をいかに治療するか？
奥山虎之（埼玉医科大学ゲノム医療科希少疾患ゲノム医療推進講座）

ランチョンセミナー 15（共催：サノフィ株式会社）
5 月 26 日（金）12:40〜13:30　第 9 会場
座長　福田冬季子（浜松医科大学医学部医学科浜松成育医療学講座）
LS15　新規治療法が可能となったライソゾーム病の診断・治療戦略
—酸性スフィンゴミエリナーゼ欠損症，ポンペ病—
酒井規夫（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻成育小児科学）

ランチョンセミナー 16（共催：武田薬品工業株式会社）
5 月 27 日（土）12:30〜13:20　第 1 会場
座長　高橋孝雄（慶應義塾大学小児科学教室）
LS16　教育との連携による ADHD 診療 —服薬の開始と継続における留意点—
宇野正章（パームこどもクリニック）

ランチョンセミナー 17（共催：バイオジェン・ジャパン株式会社）
5 月 27 日（土）12:30〜13:20　第 2 会場
SMA における早期診断・治療の意義 ―SMA 新生児スクリーニングの現状と課題―
座長　齋藤加代子（東京女子医科大学ゲノム診療科）
LS17-1　兵庫県における脊髄性筋萎縮症（SMA）の新生児マススクリーニングの現状と課題
粟野宏之（鳥取大学研究推進機構研究基盤センター）
LS17-2　兵庫県/神戸市における新生児 SMA の治療経験
坊　亮輔（神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野）

ランチョンセミナー 18（共催：日本新薬株式会社）
5 月 27 日（土）12:30〜13:20　第 3 会場
座長　竹島泰弘（兵庫医科大学小児科学）
LS18　デュシェンヌ型筋ジストロフィー治療の最新知見
小牧宏文（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター）

ランチョンセミナー 19（共催：株式会社コスミックコーポレーション）
5 月 27 日（土）12:30〜13:20　第 4 会場
座長　吉良龍太郎（福岡市立こども病院小児神経科）
LS19　見逃しているかもしれない MOG 抗体関連疾患
福與なおみ（東北医科薬科大学小児科）

ランチョンセミナー 20（共催：リヴァノヴァ株式会社）
5 月 27 日（土）12:30〜13:20　第 5 会場
薬剤抵抗性てんかんを考える
座長　福山哲広（信州大学医学部小児医学教室）
LS20-1　小児の薬剤抵抗性てんかんの診断と治療概要
岡西　徹（鳥取大学医学部脳神経小児科）
LS20-2　SenTiva を用いた治療戦略
中川裕康（医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院小児科）

ランチョンセミナー 21（共催：JCR ファーマ株式会社）
5 月 27 日（土）12:30〜13:20　第 6 会場
小児期に見逃したくない治療可能な希少疾患 ―ムコ多糖症 II 型―
座長　福田冬季子（浜松医科大学浜松成育医療学）
LS21-1　運動発達の遅れ，関節拘縮，多発蒙古斑を契機として診断に至った MPSII 型の 1 歳男児例
中村知美[1]，米川貴博[1]，小須賀基通[2]，倉井峰弘[3]，酒徳浩之[3]，花木　良[1]，平山雅浩[1]
（三重大学医学部附属病院小児科[1]，国立成育医療研究センター遺伝診療科[2]，医療法人さかとく小児科[3]）
LS21-2　ムコ多糖症 II 型の診かたと最近の治療の考え方
和田陽一（東北大学病院小児科）

ランチョンセミナー 22（共催：ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディパルホールディングス）
5 月 27 日（土）12:30〜13:20　第 7 会場
座長　徳光亜矢（北海道療育園）
LS22　神経発達症診療の最近の話題 ―小児期の低亜鉛と入眠困難―
小沢　浩（島田療育センターはちおうじ）

イブニングセミナー（S275）

イブニングセミナー（共催：第一三共株式会社）
5 月 25 日（木）18:00〜18:50　第 2 会場
座長　萩野谷和裕（宮城県立こども病院）
ES　ITB 療法〜ビギナーによるビギナー向けセミナー
（ITB 療法の立ち上げから多職種連携とフレックスパルスや歩行可能症例での工夫等）
稲葉雄二（長野県立こども病院）

市民公開講座（S276）

市民公開講座：デジタルネイティブ世代の子育て ―親子が衝突しないために―
5 月 27 日（土）13:40～15:50　第 8 会場
座長　荻野竜也　（福山市保健福祉局保健部こども発達支援センター）
岡田あゆみ（岡山大学学術研究院医歯薬学域，岡山大学病院小児心身医療科）
COL-01　岡山県におけるスマホ・ネット問題への対策について
和氣史弥[1]，松村和憲[2]（岡山県教育庁人権教育・生徒指導課[1]，岡山県教育庁保健体育課[2]）
COL-02　「ゲーム障害」との付き合い方
古田大地（岡山県精神科医療センター）
COL-特　デジタルネイティブ世代の子育て：親子が衝突しないために
樋口　進（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター）

関連研究会

関連研究会 1：第 14 回日本小児免疫性脳炎研究会　全身性疾患と脳血管障害
5 月 25 日（木）18:40～20:40　第 5 会場
座長　高橋幸利（国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター）
松重武志（山口大学大学院医学系研究科・小児科学）
RSG1-01　COVID-19 軽快後の重症脳幹脳炎/脳症
林 健一郎（東京大学医学部附属病院小児科）
RSG1-02　COVID-19 関連脳炎・脳症：2022 年の福岡市における集中治療室入室症例
鉄原健一（福岡市立こども病院集中治療科）
RSG1-03　COVID-19 における血管内皮障害・血小板活性化のメカニズム
平原　潔（千葉大学大学院医学研究院免疫発生学）
RSG1-04　全身疾患と血液脳関門
神田　隆（山口大学大学院医学系研究科神経・筋難病治療学講座）

関連研究会 2：2023 年 第 14 回　子どもの眠り研究会
小児のよりよい睡眠医療を行うために ―臨床・教育・研究の現在過去未来―
5 月 25 日（木）18:40～20:40　第 7 会場
【一般演題】
座長　宮田理英（東京北医療センター小児科）
加藤久美（太田睡眠科学センター）
RSG2-01　反復性過眠症（Klein-Levin syndrome）と診断した 1 例
平岩明子（富山大学附属病院小児科）
RSG2-02　幼児期および思春期発症の非 24 時間睡眠覚醒リズム障害の 2 症例
毛利育子（大阪大学大学院連合小児発達学研究科）
RSG2-03　養育者の子どもの眠りに関する知識と価値観・育児行動とその変容 ―ねんねナビ® の社会実証から見えたこと―」
吉崎亜里香
（大阪大学大学院連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター）
RSG2-04　学校訪問授業による子どもの行動変容
大川匡子（公益財団法人神経研究所睡眠健康推進機構）
【特別講演】
座長　谷池雅子
（大阪大学大学院連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター）
RSG2-特　朝に起きられない小中高生への対応：起立性調節障害と睡眠相後退症候群の異同について
神林　崇（筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構（WPI-IIIS），茨城県立こころの医療センター）

関連研究会 3：「小児神経の倫理を語らう会」第 1 回年次集会
5 月 26 日（金）18:10～20:10　第 2 会場
座長　岡崎　伸（大阪市立総合医療センター小児脳神経内科）
笹月桃子（西南女学院大学保健福祉学部, 九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野）
RSG3-01　未来を生きる子どもたちのために，いま医療者として果たし得ることは何か
笹月桃子（西南女学院大学保健福祉学部, 九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野）

RSG3-02　ジレンマに向き合うための「倫理的推論 ethical reasoning」とは？ ―「倫理的に感じる」だけでなく「倫理的に考える」ために―
板井孝壱郎
（宮崎大学医学部社会医学講座生命・医療倫理学分野/附属病院中央診療部門臨床倫理部）

RSG3-03　小児医療における倫理的ジレンマ：ルールと語らうことの意味
横野　恵（早稲田大学社会科学部）

RSG3-04　「生きる」と「生活する」を支えるためにできること ―こども（親）と医療者をつなぐためのジレンマ―
室岡明美
（九州大学病院医療連携センター/患者サービス課医療ソーシャルワーカー（社会福祉士/精神保健福祉士/介護支援専門員/HPS））

RSG3-05　症例提示
岡崎　伸（大阪市立総合医療センター小児脳神経内科）

RSG3-06　小児看護の視点からのコメント
山崎麻朱（千葉県こども病院副看護師長，小児看護専門看護師，こども・家族支援センター）

関連研究会 4：第 8 回小児免疫性神経筋疾患研究会（特集「小児免疫性神経筋疾患と電気生理検査」）（共催：アレクシオンファーマ合同会社）

5 月 26 日（金）18:40～20:40　第 4 会場

【特別講演】

座長　稲葉雄二（長野県立こども病院神経小児科）
石山昭彦（東京都立神経病院神経小児科）

RSG4-特 1　重症筋無力症における小児の治療指針と新しい治療薬について
石垣景子（東京女子医科大学小児科）

RSG4-特 2　重症筋無力症を始めとする神経筋接合部疾患の電気生理学的診断
園生雅弘（帝京大学医学部脳神経内科）

【一般口演】

座長　武下早生子（横浜医療福祉センター港南神経小児科）
藤井克則　（国際医療福祉大学医学部小児科）

RSG4-01　ステロイド，タクロリムス投与，IVIG 定期補充にても再発を繰り返す全身型重症筋無力症の 6 歳女児
山口　宏（神戸大学大学院医学研究科小児科）

RSG4-02　2 歳より上肢の筋力低下で発症した CIDP の治療について
鈴木雄一（福島県立医科大学小児科）

RSG4-03　慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー（CIDP）4 例の臨床経過と治療予後
萩原　翔（千葉大学大学院医学研究院小児病態学）

一般演題（口演）1：脳神経外科領域

5 月 25 日（木）10:10〜11:20　第 6 会場

座長　藤本礼尚（聖隷浜松病院てんかんセンター）
　　井原　哲（東京都立小児総合医療センター脳神経外科）

O1-01	西岡和輝	順天堂大学医学部附属練馬病院脳神経外科	Eloquent area の FCD による難治性てんかんに対する外科治療
O1-02	時岡礼恵	岡山大学病院小児神経科	一次運動野付近にてんかん原性領域を疑われ，術式選択に苦慮した West 症候群の 1 例
O1-03	土屋弘樹	岡山大学病院小児神経科	脳梁離断術後の活動性低下，食思不振が長期化しうる要因とは
O1-04	鈴木皓晴	順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター脳神経外科	部分的結節切除により発作消失が得られた結節性硬化症の一例
O1-05	白水洋史	国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科	視床下部過誤腫に対する 2 未満での手術症例の検討
O1-06	大原智子	東京都立神経病院神経小児科	KMT2B 異常症小児例に対する淡蒼球内節刺激療法の有効性
O1-07	栗原　淳	埼玉県立小児医療センター脳神経外科	自然歴と手術成績からみた脊髄終糸脂肪腫の病的意義に関する検討

一般演題（口演）2：睡眠障害

5 月 25 日（木）11:20〜12:10　第 6 会場

座長　福水道郎（昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック）
　　加藤久美（太田睡眠科学センター）

O2-01	富 雄太郎	東邦大学医療センター佐倉病院小児科	睡眠障害併存てんかん児におけるメラトニンの有用性
O2-02	長尾ゆり	昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック	小児むずむず脚症候群（RLS）におけるメラトニン製剤の効果
O2-03	篠崎　梓	東京慈恵会医科大学小児科	視神経膠腫により症候性過眠症を呈した男子例の臨床的特徴と脳波所見
O2-04	前田夢吉	福井大学小児科	中心側頭部に棘波を持つ自然終息性てんかん患者におけるローランド発射頻度と夜間睡眠の質との関連
O2-05	西山将広	神戸大学大学院小児科	3 歳時の就寝時刻または睡眠時間と小学 1 年生の学力との関連：尼崎市の人口ベースの研究

一般演題（口演）3：てんかん 診断・遺伝子 1

5 月 25 日（木）14:10〜15:10　第 6 会場

座長　柳原恵子（大阪母子医療センター小児神経科）
　　福山哲広（信州大学医学部小児医学教室）

O3-01	満屋春奈	市立ひらかた病院	生後 3 日から難治性てんかんを認めた lobar 型全前脳胞症の 1 例
O3-02	熊崎健介	鳥取大学医学部脳神経小児科	Three phase-ictal scalp EEG pattern を認め，大脳半球間裂に発作焦点を持つてんかんが疑われた 1 例
O3-03	岡田健太朗	熊本大学病院小児科	難治てんかんに体肺動脈側副血行路を合併し KCNT1 遺伝子変異の同定に至った男児
O3-04	宮下光洋	国立病院機構静岡てんかん神経医療センター小児科	WDR45 関連神経変性症の小児期におけるてんかんの臨床像
O3-05	松原康平	大阪市立総合医療センター小児脳神経内科	髄鞘化遅延を伴う DNM1 encephalopathy の 1 例
O3-06	山内泰輔	東京医科歯科大学小児科	網羅的遺伝子解析を行ったてんかん症候群の臨床的検討

一般演題（口演）4：てんかん 治療
5 月 25 日（木）15:10〜16:20　第 6 会場
座長　遠藤文香（国立病院機構南岡山医療センター小児神経科）
　　實藤雅文（佐賀大学医学部小児科）

O4-01	上田拓耶	兵庫県立こども病院神経内科	小児てんかん重積状態に対する病院前治療としてのミダゾラム頬粘膜投与製剤の安全性
O4-02	竹田里可子	埼玉県立小児医療センター神経科	てんかん 106 例におけるミダゾラム口腔用液の使用状況と有用性
O4-03	沼本真吾	愛知医科大学小児科	ロラゼパムの有効性と安全性における検討
O4-04	高見　遥	東京慈恵会医科大学小児科	全般強直発作に PER が著効した STXBP1 欠失による発達性てんかん性脳症の 11 歳男子例
O4-05	中村和幸	山形大学医学部小児科	AP2M1 バリアントに伴う脱力発作に対しゾニサミドが著効した 1 例
O4-06	池野　充	順天堂大学小児科	不随意運動に対してガバペンチンが有効であった SCN8A 関連てんかん性発達性脳症の 1 例
O4-07	大場温子	東京慈恵会医科大学附属柏病院小児科	小児期発症てんかんにおける抗てんかん薬の剤形変更についての検討

一般演題（口演）5：てんかん 病態
5 月 25 日（木）17:00〜18:00　第 6 会場
座長　福田光成（東京都立神経病院神経小児科）
　　粟屋智就（京都大学大学院医学研究科）

O5-01	高松朋子	東京医科大学小児科・思春期科学分野	小児薬剤抵抗性てんかん患者における末梢血単球の免疫学的関与について
O5-02	星野廣樹	山梨大学医学部薬理学	コネキシン阻害薬はけいれん重積後の発作閾値の低下を防止する
O5-03	岡成和夫	大分県立病院	ゼブラフィッシュのペンチレンテトラゾール誘発発作モデルにおいて抗てんかん薬が神経伝達物質の動態に与える影響
O5-04	水谷聡志	NHO 静岡てんかん・神経医療センター小児科	頭部外傷後てんかんの免疫学的検討：第 2 報-髄液サイトカイン
O5-05	日暮憲道	東京慈恵会医科大学小児科	PCDH19 欠損誘導興奮性神経細胞の形態・機能特性
O5-06	小池敬義	久留米大学医学部小児科	West 症候群における 10 年間の質量分析による尿中，血中メタボローム解析

一般演題（口演）6：画像
5 月 25 日（木）10:10〜11:20　第 7 会場
座長　夏目　淳（名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座）
　　塩浜　直（千葉大学大学院医学研究院小児病態学）

O6-01	李　　敏	大阪大学大学院連合小児発達学研究科	自閉スペクトラム症における脳内言語ネットワークの白質微細構造について
O6-02	川口将宏	名古屋大学大学院医学系研究科小児科学	安静時機能的 MRI を用いたデュシェンヌおよびベッカー型筋ジストロフィーの脳機能的ネットワーク解析
O6-03	佐野賢太郎	東京女子医科大学八千代医療センター小児科	MR スペクトロスコピーにて髄鞘形成不全パターンを示した FBXO28 関連発達性てんかん性脳症（DEE100）の 1 例
O6-04	澤村　文	名古屋大学大学院医学系研究科小児科学	原因不明の West 症候群の学童期における拡散テンソル画像解析および知能評価
O6-05	成田　肇	名古屋大学大大学院医学系研究科小児科	3DT1 強調画像を用いたレット症候群の脳体積の解析
O6-06	泉本麻耶	大阪大学大学院連合小児発達学研究科	焦点性てんかんにおける TSPO-PET の有用性についての検討
O6-07	今井　憲	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科	COL4A1 関連疾患で見られた脳画像所見についての検討

一般演題（口演）7：発達障害 1
5 月 25 日（木）11:20〜12:10　第 7 会場
座長　加賀佳美（山梨大学医学部小児科）
　　岡　牧郎（国立成育医療研究センターこころの診療部児童・思春期メンタルヘルス診療科）

O7-01	齋藤潤孝	獨協医科大学埼玉医療センターリハビリテーション科	自閉スペクトラム症児の中核症状における二者間測定の縦断的経過
O7-02	高橋美智	島田療育センター	精密対光反射計測による自閉スペクトラム症の自律神経機能の評価
O7-03	田中めぐみ	兵庫医科大学病院小児科	身体症状を主訴に小児科外来を受診した神経発達症児の検討
O7-04	菊地　謙	医療法人社団のびた	ADHD 治療薬の服用による易疲労性と身体不活動を呈する ADHD 児の心肺機能の経過
O7-05	西川将司	名古屋大学理学研究科生命理学領域	PLEKHG2 ミスセンス変異による神経発達障害の発症メカニズム

一般演題（口演）8：感染，免疫
5 月 25 日（木）14:10〜15:20　第 7 会場
座長　稲葉雄二　（長野県立こども病院神経小児科）
　　村上てるみ（国立病院機構東埼玉病院臨床研究部/神経内科）

O8-01	朝倉真理	公立昭和病院小児科	バセドウ病の寛解に伴い胸腺過形成の退縮および眼筋型重症筋無力症の寛解を認めた 13 歳女子例
O8-02	長谷幸治	市立宇和島病院小児科	SLE を合併した小児期発症全身型重症筋無力症の治療における Efgartigimod の有用性
O8-03	渡辺小百合	ヤンセンファーマ株式会社	新規 FcRn 拮抗薬 Nipocalimab による全身型重症筋無力症（gMG）を対象とした臨床開発について
O8-04	竹内博一	埼玉県立小児医療センター神経科	小児重症筋無力症に対する急性期免疫グロブリン静注療法の有効性について
O8-05	小林揚子	国立成育医療研究センター神経内科	Diagnostic Odyssey Plot を用いた小児ギラン・バレー症候群の診断遅延因子の検討
O8-06	米元耕輔	九州大学小児科	ヒト誘導ミクログリアを用いた炎症性シグナルの解析
O8-07	宮奈　香	日本赤十字社医療センター	B 細胞の回復とともに症状が再燃した opsoclonus-myoclonus 症候群の 1 例

一般演題（口演）9：筋 1
5 月 25 日（木）15:20〜16:20　第 7 会場
座長　本橋裕子（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科）
　　粟野宏之（鳥取大学研究推進機構研究基盤センター）

O9-01	木原祐希	東京女子医科大学病院小児科	Duchenne 型筋ジストロフィー患者における薬力学的マーカーを指標とした観察研究
O9-02	鈴井良輔	名古屋大学大学院医学系研究科	3DT1 強調画像を用いた，デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者における外眼筋の体積，信号値の計測
O9-03	八戸由佳子	国立精神・神経医療研究センター脳神経小児科	日本人デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者における骨格筋 MRI 所見の横断的研究
O9-04	森田　翼	獨協医科大学埼玉医療センター小児科	定期的な大量免疫グロブリン療法が有効だった抗 HMGCR 抗体陽性壊死性ミオパチーの一例
O9-05	青木雄介	あいち小児保健医療総合センター神経内科	筋病理で筋原線維性ミオパチー様所見を呈し，titin 遺伝子変異を認めた先天性ミオパチーの 1 例
O9-06	松永愛香	鹿児島大学病院小児科	乳児期に発症し TTN 遺伝子変異を認めたミオパチーの一例

一般演題（口演）10：電気生理（脳波，筋電図，脳磁図など）

5 月 25 日（木）17:00〜18:10　第 7 会場

座長　本田涼子（国立病院機構長崎医療センター小児科）
　　岡西　徹（鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科）

O10-01	金井創太郎	鳥取大学医学部脳神経小児科	MRI 異常のない乳児てんかん性スパズム症候群の治療前脳波検査に対する定量解析を利用した ACTH 療法の効果予測
O10-02	梅田真洋	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科	乳児てんかん性スパズム症候群における治療前後の脳波における Based score とてんかん性スパズムの再発および発達予後について
O10-03	柴田　敬	岡山大学学術研究院医歯薬学域小児医科学分野発達神経病態学領域（岡山大学病院小児神経科）	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症に対するエトスクシミドの効果予測 ―位相振幅カップリングを用いて―
O10-04	光松孝真	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	二相性急性脳症（AESD）後てんかんにおける焦点推定と脳内ネットワークの機能異常の同定：EEG-fMRI を用いた検討
O10-05	鈴木基正	あいち小児保健医療総合センター神経内科	持続脳波モニタリングで背景活動が徐波を呈した重症小児の予後因子
O10-06	岸　高正	荒木脳神経外科病院小児科	Paroxysmal occipital discharges with fixation-off sensitivity を呈した非定型欠神発作の 1 例
O10-07	神谷千織	大阪大学大学院連合小児発達学研究科	乳児期早期の触覚特性と体性感覚野の半球間コネクティビティに関する前向きコホート研究

一般演題（口演）11：遺伝子・染色体異常，先天異常 1

5 月 26 日（金）9:30〜10:30　第 5 会場

座長　和田敬仁（京都大学医学研究科ゲノム医療学講座（産学共同））
　　小島華林（自治医科大学小児科）

O11-01	十川麗美	岡山大学病院臨床遺伝子診療科	マイクロアレイ染色体検査にて Charcot-Marie-Tooth 病責任領域の重複が認められた Miller-Dieker 症候群の遺伝カウンセリング
O11-02	一宮優子	九州大学小児科	PCDH12 関連疾患の一例
O11-03	花房宏昭	神戸大学大学院医学研究科小児科	出血性ショック脳症症候群をきたした Dravet 症候群に SCN1A のイントロンに新規の 21 塩基欠失を認め minigene 解析を実施した 1 例
O11-04	大城一航	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科	Noonan 症候群様の徴候を呈した 6p25 欠失症候群の 1 例
O11-05	岩崎友哉	筑波大学附属病院小児科	6q22.1 微細欠失を伴うてんかん，軽度知的発達症，振戦，側彎のある一家系
O11-06	藤本真徳	名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野	Angelman 症候群の臨床的特徴の検討

一般演題（口演）12：遺伝子・染色体異常，先天異常 2

5 月 26 日（金）10:30〜11:20　第 5 会場

座長　新井田 要（金沢医科大学病院ゲノム医療センター）
　　石原尚子　（藤田医科大学医学部小児科学）

O12-01	梶原健太	九州大学病院小児科	多発する皮下神経鞘腫とカフェ・オ・レ斑を認めた神経線維腫症 2 型の 14 歳女児
O12-02	白井真規	長野県立こども病院神経小児科	当院における全前脳胞症患者の臨床的特徴と長期予後
O12-03	赤松真実	刈谷豊田総合病院小児科	繰り返す意識障害を呈し遺伝子解析にて診断した家族性片麻痺性片頭痛 1 型の一家系
O12-04	山岸裕和	自治医科大学小児科	痙性対麻痺と軽度知的障害を合併した ATL1 遺伝子異常の 1 例
O12-05	阪田健祐	久留米大学病院小児科	右内斜視を契機に脳動脈瘤の診断に至った結節性硬化症の 4 歳男児

一般演題（口演）13：災害・COVID-19 1
5 月 26 日（金）13:45～14:55　第 5 会場
座長　小篠史郎　（熊本大学病院小児在宅医療支援センター）
菊池健二郎（埼玉県立小児医療センター神経科）

O13-01	宮原大輔	独立行政法人国立病院機構岡山医療センター小児科	SARS-CoV 2 感染後に発症した抗 MOG 抗体陽性横断性脊髄炎と focal cerebral arteriopathy
O13-02	阿部ちひろ	松戸市立総合医療センター小児科	当院に入院した COVID-19 神経合併症例の検討
O13-03	河田奈々子	東京都立小児総合医療センター神経内科	当院での COVID-19 における急性脳症 7 例の検討
O13-04	居相有紀	市立ひらかた病院小児科	COVID-19 における熱せん妄患者の後方視的検討
O13-05	沖　啓祐	大阪母子医療センター小児神経科	新型コロナウイルスオミクロン BA.5 株感染症の小児患者におけるけいれん重積型二相性脳症（AESD）3 例の検討
O13-06	野々山葉月	東京慈恵会医科大学附属柏病院小児科	新型コロナウイルス感染症流行下におけるけいれん性てんかん重積状態に対するミダゾラム筋肉注射の有効性と安全性についての検討
O13-07	大友智史	東海大学医学部付属八王子病院	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴い神経学的症候を呈した 21 例の検討

一般演題（口演）14：災害・COVID-19 2
5 月 26 日（金）14:55～15:55　第 5 会場
座長　藤井裕士　（広島市立舟入市民病院小児科）
チョン ピンフィー（九州大学大学院医学研究院成長発達医学）

O14-01	落合健太	東京女子医科大学八千代医療センター小児科	COVID－19 感染症流行期に発症したエンテロウイルス D68 関連急性弛緩性脊髄炎の 1 例
O14-02	萩原　翔	千葉大学医学部附属病院小児科	COVID-19 に伴い遷延する筋炎症状を認めた自己免疫介在性壊死性ミオパチーの 1 例
O14-03	中島　健	大阪母子医療センター	新型コロナウイルス感染症に併発した急性小脳炎の女児例
O14-04	堀田悠人	あいち小児保健医療総合センター神経内科	急性小脳炎を伴った COVID-19 関連脳症の 2 例
O14-05	小坂拓也	福井大学医学部小児科	COVID-19 に伴い脳梗塞を発症した 1 歳女児例
O14-06	有吉俊樹	山口大学医学部付属病院小児科	新型コロナワクチン接種後に Childhood Primary Angiitis of the Central Nervous System を発症した 9 歳男児

一般演題（口演）15：災害・COVID-19 3
5 月 26 日（金）16:30～17:30　第 5 会場
座長　木村重美（兵庫県立リハビリテーション中央病院子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター）
榊原崇文（奈良県立医科大学小児科）

O15-01	大場千鶴	市立ひらかた病院小児科	市中病院におけるコロナウイルス感染に伴う熱性けいれん 106 例の検討
O15-02	有坂敦子	東京都立墨東病院小児科	CoV2 関連熱性けいれん入院例の臨床的検討
O15-03	本郷裕斗	兵庫県立こども病院神経内科	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により有熱性けいれんを認めた患者の臨床的特徴
O15-04	花岡義行	倉敷中央病院小児科	小児における COVID-19 による有熱時発作の重積・群発に関する臨床的検討
O15-05	チョンピンフィー	九州大学大学院医学研究院成長発達医学	COVID-19 後に発症した脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血の男児例
O15-06	中村康子	東京都立東大和療育センター小児科	重症心身障害（児）者施設における新型コロナウイルス感染症の臨床像の検討

一般演題（口演）16：代謝性疾患 1

5 月 26 日（金）17:30〜18:20　第 5 会場

座長　衞藤　薫　（東京女子医科大学附属足立医療センター小児科，東京女子医科大学小児科）
久保田一生（岐阜大学大学院医学系研究科小児科）

O16-01	松浦隆樹	埼玉県立小児医療センター神経科	本邦で初めてゲノム解析により診断された Salla 病の 1 例
O16-02	成田　綾	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科	日本人ゴーシェ病患者を対象とした PRO 尺度の開発と日本人患者の評価結果
O16-03	遠藤若葉	宮城県立こども病院神経科	2 型ゴーシェ病における息詰め発作の検討
O16-04	松尾宗明	佐賀大学医学部小児科	ニーマンピック病 C 型に対するシクロデキストリン療法の長期効果
O16-05	七字美延	東京女子医科大学病院小児科	酵素補充療法中の小児型 Pompe 病患者における骨格筋画像の長期経過

一般演題（口演）17：代謝性疾患 2

5 月 26 日（金）18:20〜19:20　第 5 会場

座長　福田冬季子（浜松医科大学浜松成育医療学遺伝子診療部・小児科）
村山　圭　（千葉県こども病院代謝科）

O17-01	宮田世羽	杏林大学医学部小児科	一過性基底核病変を生じた低排泄型グルタル酸血症 1 型
O17-02	竹内章人	国立病院機構岡山医療センター小児神経内科	一過性のメチルマロン酸尿中排泄増加を認めた PACS2 遺伝子異常症の 1 例
O17-03	久保田一生	岐阜大学大学院医学系研究科小児科	新生児マススクリーニングを契機に副腎白質ジストロフィーと診断された父親への遺伝カウンセリング
O17-04	中田智彦	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	愛知県における副腎白質ジストロフィーの拡大新生児マススクリーニングの現状と課題
O17-05	小野浩明	県立広島病院小児科	エンパグリフロジンを使用した肝移植後糖原病 Ib 型の 1 例
O17-06	木村修平	北海道大学大学院医学研究院小児科	Ndufs4 機能欠失マウスを用いた Leigh 脳症に対する 5-ALA の有効性の評価

一般演題（口演）18：急性脳炎・脳症（自己免疫性脳炎を除く）1

5 月 26 日（金）9:30〜10:20　第 6 会場

座長　後藤知英（神奈川県立こども医療センター神経内科）
椎原　隆（群馬県立小児医療センター神経内科）

O18-01	徳元翔一	神戸大学大学院医学研究科小児科	前向き多施設レジストリによる有熱性けいれん性発作後の意識障害持続時間と転帰との関連
O18-02	佐久間一理	福島県立医科大学小児科	亜急性期の血清 LDH，CRP 高値持続は急性脳症の重度神経学的後遺症を予測するかもしれない
O18-03	高木みずき	愛知医科大学小児科	小児の急性脳症におけるプロカルシトニンの診断的意義
O18-04	老川静香	神戸大学大学院医学研究科小児科	発熱を伴う 30 分以上のけいれん性てんかん重積状態における転帰不良関連因子：前向き多施設コホートでの検証
O18-05	西岡　誠	長野県立こども病院神経小児科	けいれん重積型急性脳症の発症予測における経時的な AST 測定の有用性の検討

一般演題（口演）19：急性脳炎・脳症（自己免疫性脳炎を除く）2

5 月 26 日（金）10:20〜11:10　第 6 会場

座長　多田弘子（千葉県済生会習志野病院小児科）
永瀬裕朗（神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野こども急性疾患学部門）

O19-01	高瀬菜々子	東京女子医科大学八千代医療センター小児科	興奮毒性が関与する小児軽症急性脳症（MEEX）臨床像の検討
O19-02	土肥周平	公立豊岡病院組合立豊岡病院小児科	地域中核病院における有熱時発作群発症例の管理方法の検討
O19-03	木村志保子	国立研究開発法人医薬基盤・健康・影響研究所	脳血管内皮細胞へのウイルスの直接感染はインフルエンザ関連脳症の発症の引き金となる
O19-04	山口　宏	神戸大学大学院医学研究科小児科	有熱性てんかん重積・急性脳症に対する疾患関連遺伝子の探索
O19-05	伊藤智城	市立札幌病院小児科	小児期発症の急性脳炎・脳症とあくび

一般演題（口演）20：神経変性疾患 1

5 月 26 日（金）13:45〜14:45　第 6 会場

座長　青天目 信（大阪大学大学院医学系研究科小児科学）
水野朋子　（東京医科歯科大学小児科）

O20-01	二宮　央	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科	淡蒼球または黒質に T2WI で一過性の高信号と腫大を呈した SENDA/BPAN の臨床像
O20-02	橋口万里奈	自治医科大学小児科	栃木県における脊髄性筋萎縮症拡大スクリーニング開始と検査陽性例
O20-03	曽根原晶子	神戸大学大学院医学研究科小児科	拡大新生児マススクリーニングで発見された脊髄性筋萎縮症の 2 例
O20-04	（演題取り下げ）		
O20-05	橘　洋介	バイオジェンジャパン	脊髄性筋萎縮症治療薬ヌシネルセンの国内使用成績調査（全例調査）：2022 年 5 月カットオフデータを用いた中間集計結果
O20-06	加藤　環	東京女子医科大学ゲノム診療科	脊髄性筋萎縮症患者におけるリスジプラムの治療有効性バイオマーカーに関する検討

一般演題（口演）21：その他 1

5 月 26 日（金）14:45〜15:45　第 6 会場

座長　若本裕之（愛媛県立子ども療育センター小児科）
宮本雄策（聖マリアンナ医科大学小児科）

O21-01	荻野元子	市立ひらかた病院小児科	熱性けいれんを経験した保護者の心的外傷・不安についての調査
O21-02	出雲大幹	広島大学病院小児科	ダントロレンナトリウム水和物による薬剤性胸水貯留を認めた重症心身障碍児の一例
O21-03	若林　慶	自治医科大学小児科	早産児の親子に対する幼児のための親子相互交流療法（PCIT-T）の治療効果測定
O21-04	石川明雄	山形大学医学部小児科	KCNT1 遺伝子バリアントに伴う遊走性焦点発作を伴う乳児てんかんに合併した肺体側副血管へ対し予防的コイル塞栓術を施行した 1 例
O21-05	早川　格	国立成育医療研究センター神経内科	希少疾病に対する診断オデッセイプロットの応用
O21-06	一ノ瀬文男	佐賀大学医学部小児科	P2X7 受容体遺伝子多型と熱性けいれんおよび IL-1β 産生能との関連について

一般演題（口演）22：神経変性疾患 2

5 月 26 日（金）16:30〜17:30　第 6 会場

座長　伊東恭子（京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学）
植松　貢（東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野）

O22-01	松岡剛司	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科・こころ科	SMAIS-ULM を用いて経時的に運動機能評価を行った脊髄性筋萎縮症 II 型の一例
O22-02	元木崇裕	愛媛大学医学部小児科	生後 3 ヶ月よりヌシネルセン投与を開始され 5 年が経過した脊髄性筋萎縮症 1 型の運動および知的発達評価の問題点
O22-03	池谷紀衣子	神戸大学医学部附属病院小児科	ヌシネルセン治療を 4 年間行った脊髄性筋萎縮症 3 型の大腿 MRI の変化
O22-04	城賀本敏宏	愛媛大学医学部附属病院小児科	オナセムノゲンアベパルボベクによる血栓性微小血管症を発症し，頻回の血漿交換を含めた集学的治療により回復した SMA 2 型の 1 例
O22-05	武藤亜希	あいち小児保健医療総合センター神経内科	オナセムノゲンアベパルボベク投与後に血栓性微小血管症を発症し，迅速な院内連携により良好な転帰を辿った脊髄性筋萎縮症の 1 例
O22-06	長谷川三希子	獨協医科大学埼玉医療センターリハビリテーション科	オナセムノゲンアベパルボベク治療を受けた脊髄性筋萎縮症患児の運動機能と整形外科的合併症

一般演題（口演）23：急性脳炎・脳症（自己免疫性脳炎を除く）3

5 月 26 日（金）17:30〜18:30　第 6 会場

座長　久保田哲夫（安城更生病院小児科）
石川暢恒　（県立広島病院小児科）

O23-01	山本晃代	札幌医科大学小児科	回復期に不随意運動が遷延したアデノウイルスによる二相性脳症の 2 例
O23-02	原田晋二	兵庫県立こども病院神経内科	サイトメガロウイルス初感染により HSES および HLH 病態を呈した乳児例
O23-03	吉村　通	名古屋大学大学院医学系研究科小児科学	同種造血幹細胞移植後に急性辺縁系脳炎を呈した 4 例
O23-04	山田隆太郎	イムス富士見総合病院	Wernicke 脳症を発症した小児例
O23-05	安河内 悠	東京女子医科大学八千代医療センター	頭部外傷後に大脳白質の拡散能低下を認めた乳児 5 例の検討
O23-06	大橋瑛梨	国立成育医療研究センター	小児心停止蘇生後症候群の神経学的予後と持続脳波モニタリング

一般演題（口演）24：その他 2

5 月 26 日（金）18:30〜19:10　第 6 会場

座長　元木崇裕（愛媛大学医学部小児科）
吉田健司（京都大学大学院医学研究科発達小児科学）

O24-01	菊池健二郎	埼玉県立小児医療センター神経科	救急救命士のミダゾラム口腔用液に対する意識調査
O24-02	井上　建	獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター	ゲーム障害の質問紙検査 IGDS9-SF 日本語版の作成と有用性
O24-03	柳原恵子	大阪母子医療センター小児神経科	小児神経関連書類記載についての検討 ―医師の業務削減に向けて―
O24-04	大野敦子	豊田市こども発達センターのぞみ診療所小児神経科	出生前診断を受けた妊婦，家族への支援に関する検討

一般演題（口演）25：新生児・早産児・周産期脳障害

5 月 26 日（金）9:30〜10:30　第 7 会場

座長　加藤　徹（岡崎市民病院小児科）
武内俊樹（慶應義塾大学医学部小児科）

O25-01	伊藤祐史	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	6 歳の超早産児に対する三次元歩行解析を含めた多面的な運動機能評価
O25-02	白木杏奈	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	新生児脳の後頭を含む脳機能ネットワークは静睡眠より動睡眠で強い
O25-03	松永友佳	九州大学病院総合周産期母子医療センター新生児内科	超早産児の修正 1 歳半から修正 3 歳の DQ スコア上昇には身長の伸びが関連する
O25-04	演題取り下げ		
O25-05	早川克己	京都第一赤十字病院放射線診断科	正期産児の低酸素性虚血性脳症における ADC 値による予後との相関
O25-06	高橋章仁	倉敷中央病院小児科	胎児期のアシドーシスの判定には生後の Base excess も活用しましょう

一般演題（口演）26：脳性麻痺

5 月 26 日（金）10:30〜11:30　第 7 会場

座長　伊住浩史（鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科）
北井征宏（ボバース記念病院小児神経科）

O26-01	玉浦　萌	国立病院機構広島西医療センター小児科	重症心身障害児（者）施設入所者における長期予後と気管切開下陽圧人工呼吸療法との関連についての検討
O26-02	田宮茉莉子	聖ヨゼフ医療福祉センター	周産期/既往歴のない小児における片麻痺
O26-03	増田智幸	長野県立こども病院神経小児科	ロボットスーツ HAL によるリハビリテーションとバクロフェン髄注療法を併用した痙性対麻痺の小児例
O26-04	田中竜太	茨城県立こども病院小児科	当院通院患者の気管切開・喉頭気管分離の時期と関連因子に関する検討
O26-05	若本裕之	愛媛県立子ども療育センター小児科	重症心身障がい児の摂食嚥下に関する長期予後の検討
O26-06	河崎洋子	神戸医療福祉センターにこにこハウス	当センターにおける医療的ケア児の移行期医療受け入れの現状について

一般演題（口演）27：自己免疫性脳炎 1

5 月 26 日（金）13:45〜14:45　第 7 会場

座長　福與なおみ（東北医科薬科大学病院小児科）
松重武志　（山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座）

O27-01	波種真希	宮崎大学医学部小児科	経時的に髄液中サイトカイン解析を行った抗 NMDA 受容体脳炎の 1 例
O27-02	松原康平	大阪市立総合医療センター小児脳神経内科	脳核医学検査からみた抗 NMDA 受容体抗体脳炎の病態解析
O27-03	高橋幸利	静岡てんかん神経医療センター	髄液 cell-based assay 陽性抗 NMDA 受容体脳炎の予後：臨床特徴の影響
O27-04	若江恵三	自治医科大学付属病院小児科	意識障害が遷延したが，腫瘍摘出により神経学的予後が良好であった抗 NMDA 受容体脳炎の一例
O27-05	寺西宏美	埼玉医科大学病院小児科	MOG antibody-associated disorder（MOGAD）の 4 例の臨床的検討
O27-06	梶本智史	田附興風会医学研究所北野病院小児科	抗 MOG 抗体関連疾患の 4 小児例

一般演題（口演）28：自己免疫性脳炎 2

5 月 26 日（金）14:45〜15:45　第 7 会場

座長　吉良龍太郎（福岡市立こども病院小児神経科）
　　宮　一志　（富山大学教育学部）

O28-01	落合　悟	国立成育医療研究センター神経科	抗中性糖脂質抗体陽性 Encephalomyeloradiculoneuropathy の世界最年少例
O28-02	森　貴幸	東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト	小児自己免疫性てんかんにおける APE score の有効性と小児 APE score への改変可能性
O28-03	西本静香	大阪母子医療センター小児神経科	インフリキシマブによる炎症性腸疾患の治療中に急性散在性脳脊髄炎を発症した 1 例
O28-04	山本直寛	大阪市立総合医療センター小児青年てんかん診療センター小児脳神経内科	特徴的な画像所見とサイトカイン/ケモカインの増加を呈した自己免疫性 GFAP アストロサイトパチーの 1 例
O28-05	浜本麻希	兵庫県立尼崎総合医療センター	Dexamethasone 髄腔内投与直後に発作が著明に減少した febrile infection-related epilepsy syndrome の 1 例
O28-06	九鬼一郎	大阪市立総合医療センター小児脳神経内科	Febrile infection-related epilepsy syndrome に対するケタミンの使用経験

一般演題（口演）29：てんかん 診断・遺伝子 2

5 月 26 日（金）16:30〜17:30　第 7 会場

座長　武下草生子（横浜医療福祉センター港南神経小児科）
　　藤田貴子　（福岡大学病院小児科）

O29-01	秋山麻里	岡山大学病院小児神経科	青年期発症進行性ミオクローヌスてんかんを呈し MECP2 遺伝子変異が判明した一例
O29-02	仲村貞郎	琉球大学小児科	Developmental and epileptic encephalopathy を発症した LIG3 関連ミトコンドリア DNA 枯渇症候群の同胞例
O29-03	服部有香	社会医療法人愛仁会高槻病院小児科	超難治性けいれん重積状態の治療に難渋した ALDH7A1 遺伝子変異による非典型ビタミン B6 依存性てんかんの 1 例
O29-04	川嶋有朋	宮城県立こども病院	難治性てんかんを学童期に発症した BRAF 遺伝子変異による CFC 症候群の一例
O29-05	演題取り下げ		
O29-06	犬塚佳世	大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学	幼児期に精神運動発達遅滞とてんかんを認めた beta-propeller protein-associated neurodegeneration（BPAN）の二例

一般演題（口演）30：てんかん 診断・遺伝子 3

5 月 26 日（金）17:30〜18:30　第 7 会場

座長　池田浩子（てんかん・神経大阪南森町いけだクリニック）
　　岡成和夫（大分県立病院小児科）

O30-01	小一原玲子	埼玉県立小児医療センター保健発達部	小児欠神てんかん非典型例における予後不良規定因子の検討
O30-02	福與なおみ	東北医科薬科大学小児科	中心・側頭部に棘波を持つ小児てんかんの臨床症状と遺伝学的背景
O30-03	石田倫也	NHO 静岡てんかん・神経医療センター小児科	脳炎・脳症後てんかんの発作予後に関連する臨床免疫学的検討：多変量解析
O30-04	米野翔太	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科	二相性筋収縮を示すてんかん性スパズムの検討
O30-05	福岡正隆	国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科	Epileptic spasms での発作時 SPECT を施行した限局性皮質異形成症例の検討
O30-06	平田佑子	埼玉県立小児医療センター神経科	発症時 Unknown etiology で ACTH 療法有効の乳児てんかん性スパズム症候群における長期予後

一般演題（口演）31：てんかん 診断・遺伝子 4
5 月 26 日（金）18:30〜19:20　第 7 会場
座長　倉橋宏和（愛知医科大学医学部小児科）
中村和幸（山形大学医学部小児科）

O31-01	吉永治美	南岡山医療センター小児神経科	焦点発作で再発した小児欠神てんかんの双胎例
O31-02	立石裕一	広島大学病院小児科	患者・介護者の発作症状の表現から発作型の特定が可能か？
O31-03	太田　亮	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科	結節性硬化症に伴い右耳の体性感覚痛発作より始まるシリーズ形成性スパズムを発症した 13 歳男子例
O31-04	藤代定志	関西医科大学小児科	下垂体 Germinoma により徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症（ECSWS）を呈した 1 例
O31-05	白水洋史	国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科	新生児・乳児期の笑い発作を見逃すな！

一般演題（口演）32：筋 2
5 月 27 日（土）9:00〜10:00　第 6 会場
座長　小牧宏文　（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター）
池田（谷口）真理子（藤田医科大学病院臨床遺伝科）

O32-01	石黒久美子	東京女子医科大学小児科	福山型先天性筋ジストロフィー（FCMD）の嚥下障害に関する検討
O32-02	佐藤孝俊	東京女子医科大学小児科	福山型先天性筋ジストロフィーにおける睡眠障害
O32-03	李　知子	兵庫医科大学小児科	家族歴のないジストロフィン遺伝子変異を有する女児における母親の保因者頻度
O32-04	大澤佳代	神戸常盤大学保健科学部	プレドニゾロン投与治療による Duchenne 型筋ジストロフィーの筋崩壊抑制効果の尿中タイチンを用いた評価
O32-05	竹下絵里	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科	歩行可能なデュシェンヌ型筋ジストロフィーの自然歴研究
O32-06	溝部吉高	自治医科大学小児科	ジストロフィンタンパク質ドメイン Hinge 3 を欠失する Duchenne 型筋ジストロフィーは，歩行可能期間と心機能が保たれやすい.

一般演題（口演）33：遺伝子・染色体異常，先天異常 3
5 月 27 日（土）10:10〜11:10　第 6 会場
座長　竹下絵里（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科）
岡崎哲也（鳥取大学医学部附属病院遺伝子診療科）

O33-01	永田浩一	愛知県医療療育総合センター発達障害研究所	低分子量 G 蛋白質 RAC3 の病的バリアントによる発達障害の病態形成機構
O33-02	楢原　翔	愛知県三河青い鳥医療療育センター小児科	Angelman 症候群の歩行の特徴：三次元歩行解析を用いた検討
O33-03	藤井史彦	九州大学小児科	ATP1A3 p.R756C 変異を有する誘導多能性幹細胞を用いた熱ショック反応の検討
O33-04	粟屋智就	京都大学大学院医学研究科形態形成機構学	iPS 細胞由来ミクログリアを用いた Aicardi-Goutieres 症候群の中枢神経免疫病態の解析
O33-05	山川和弘	名古屋市立大学大学院医学研究科脳神経科学研究所神経発達症遺伝学分野	ナトリウムチャネル遺伝子 SCN2A 変異による神経発達症発症メカニズム
O33-06	三谷忠宏	自治医科大学小児科	新規の神経細胞移動異常症関連遺伝子 TUBGCP2 と CAMSAP1 の同定

一般演題（口演）34：遺伝子・染色体異常，先天異常 4

5 月 27 日（土）11:10〜12:00　第 6 会場

座長　高野亨子　（信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター）
千代延友裕（京都府立医科大学附属病院遺伝子診療部）

O34-01	岡本伸彦	大阪母子医療センター遺伝診療科	希少未診断疾患プロジェクトにおける小脳異常症の臨床遺伝学的検討
O34-02	鹿島田彩子	東京医科歯科大学小児科	新規 RNF213 遺伝子 de novo バリアントは全身性の血管縮窄症に関与する
O34-03	野崎真紀	昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック	瀬川病の神経発達症併存例についての検討
O34-04	中村春彦	宮城県立こども病院	覚醒時の過呼吸および呼吸停止をきたす CDKL5，EHMT1，HECW2 遺伝子変異の 3 例
O34-05	埜中正博	関西医科大学脳神経外科	全ゲノム解析にて特定した tubulin 遺伝子の変異を有する難治性脳形成障害

一般演題（口演）35：遺伝子・染色体異常，先天異常 5

5 月 27 日（土）13:40〜14:30　第 6 会場

座長　内川英紀（東千葉メディカルセンター小児科）
松本　歩（自治医科大学人類遺伝学研究部）

O35-01	永田　徹	医学研究所北野病院小児科	PACS1 神経発達障害の男児例
O35-02	池原　甫	千葉大学医学部附属病院小児科	DARS2 遺伝子変異により，出生時から急速進行性の脳萎縮を示した女児
O35-03	颯佐かおり	埼玉医科大学病院小児科	THG1L 変異を認め，発達遅延，難治てんかんと chorea を呈した 1 例
O35-04	佐藤仁志	金沢医科大学小児科	大脳白質異常症を伴う 6p25 欠失症候群の一例
O35-05	石原尚子	藤田医科大学医学部小児科	けいれん群発に伴いたこつぼ型心筋症を併発した ATP1A3 関連てんかん性脳症の 1 例

一般演題（口演）36：内分泌，中毒，栄養

5 月 27 日（土）14:30〜15:20　第 6 会場

座長　井上美智子（国立病院機構南岡山医療センター小児科・小児神経科）
八ツ賀秀一（福岡大学小児科）

O36-01	池田　妙	大阪母子医療センター小児神経科	ROHHAD 症候群 5 例の臨床症状と自己抗体について
O36-02	内山伸一	国立病院機構西別府病院	重症心身障害児（者）における胆嚢炎および膵炎の検討
O36-03	八木麻理子	甲南女子大学人間科学部総合子ども学科	甲状腺機能低下症の治療中に動作緩慢を認め，甲状腺機能亢進所見を呈した，成人ダウン症候群の 2 例
O36-04	田上幸治	神奈川県立こども医療センター	自閉症児の偏食の特徴
O36-05	栗原栄二	北原ライフサポートクリニック小児神経内科	発作性脱力症状を呈した貧血のない血清フェリチン低下の 2 症例

一般演題（口演）37：発達障害 2
5 月 27 日（土）9:00〜9:50　第 7 会場
座長　島川修一（大阪医科薬科大学病院小児科）
鈴木雄一（福島県立医科大学小児科）

O37-01	大谷良子	獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター	小児注意欠如多動症におけるリスデキサンフェタミン特定使用成績調査 30 名の中間報告
O37-02	西村美緒	神戸医療福祉センターにこにこハウス	知的障害を伴わず DSM-5 で ASD と診断される女児の臨床的特徴
O37-03	高井あかり	花ノ木医療福祉センター小児科	自閉スペクトラム症児における自閉症特性の強さと感覚特性の強さとの関連についての検討
O37-04	末田慶太朗	札幌市子ども心身医療センター児童精神科	書字障害をもつ小中学生の背景要因の検討：微細神経学的徴候，協調運動の困難さ，目と手の協応，視知覚，読字障害に注目して
O37-05	柳生一自	北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門	書字表出に関わる背景因子の検討

一般演題（口演）38：発達障害 3
5 月 27 日（土）10:10〜11:00　第 7 会場
座長　小枝達也（国立成育医療研究センターこころの診療部）
福井美保（大阪大谷大学教育学部，大阪医科薬科大学小児科）

O38-01	山田侑子	聖ヨゼフ医療福祉センター	乳児期の姿勢運動発達の問題と神経発達症との関連性
O38-02	惠　明子	熊本大学大学院	小児の神経発達症における書字動態と前頭葉機能の関連性
O38-03	岡　牧郎	国立成育医療研究センターこころの診療部児童・思春期メンタルヘルス診療科	大家族における発達性ディスレクシアの病因遺伝子解析
O38-04	森　健治	徳島大学医学部子どもの保健・看護学分野	読字障害を有する小学 1 年生における NIRS を用いた脳機能評価
O38-05	住友典子	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科	自閉スペクトラム症における腸内細菌の特徴

一般演題（口演）39：発達障害 4
5 月 27 日（土）11:10〜12:10　第 7 会場
座長　関 あゆみ（北海道大学教育学研究院）
中野広輔　（愛媛大学教育学部）

O39-01	内川英紀	東千葉メディカルセンター	1 歳半健診における発達調査（東金市）
O39-02	福田あゆみ	島田療育センターはちおうじ神経小児科	境界知能の子どもと両親における不安・抑うつに関する検討
O39-03	青柳閣郎	山梨県立あけぼの医療福祉センター小児科	神経発達症児のゲーム・インターネット利用の現状
O39-04	永江彰子	びわこ学園医療福祉センター草津	神経麻酔分野における国際規格移行後のインシデント
O39-05	中村由紀子	島田療育センター小児科	療育センターにおける 20 年間の医療の変遷
O39-06	木村直子	マウントサイナイ医科大学内科学部門	米国における特別支援，社会的養護を要する子供達に対するリソース

一般演題（口演）40：自律神経，頭痛
5 月 27 日（土）13:40〜14:30　第 7 会場
座長　榎 日出夫（川崎医科大学小児科）
下村英毅 （兵庫医科大学医学部小児科）

O40-01	宮里良大	東邦大学医療センター佐倉病院小児科	てんかん患児の頭痛に対するレベチラセタムの有用性
O40-02	實藤雅文	佐賀大学医学部小児科	自己免疫性自律神経障害の小児における心電図心拍変動の有用性
O40-03	野田あんず	埼玉県立小児医療センター総合診療科	体位性頻脈症候群の頭痛の特徴
O40-04	杉山延喜	JA 神奈川県厚生連伊勢原協同病院小児科	起立性調節障害における安静時アデニル酸シクラーゼ活性量の検討
O40-05	疋田敏之	ひきた小児科クリニック	頭痛に関連する疾患の尿中 5-ヒドロキシインドール酢酸についての検討

フリーディスカッション　5 月 25 日（木）13:25〜14:05　演題番号の末尾が奇数の発表者
5 月 25 日（木）16:15〜16:55　演題番号の末尾が偶数の発表者

一般演題（ポスター）1：染色体異常（CGH アレイ異常含む）1

P1-001	森 こずえ	宮崎大学医学部小児科	FOXG1 遺伝子の重複が West 症候群の発症に関与した 14 部分トリソミーの一例
P1-002	短田浩一	京都第一赤十字病院小児科	両側傍シルビウス裂症候群を合併した 15q 重複症候群モザイクの一例
P1-003	西條晴貴	地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター神経内科	当院における Wolf Hirschhorn（4p 欠失）症候群のてんかんと運動機能の検討
P1-004	道和百合	群馬県立小児医療センター神経内科	マイクロアレイ染色体検査で診断に至った非典型的症状をもつ 9 トリソミーモザイク
P1-005	岩渕恵美	茨城県立こども病院	先天性心疾患，精神運動発達遅滞を有しスミス・マギニス症候群の診断に至った 3 例
P1-006	松田慎平	順天堂大学静岡病院小児科	び漫性脈絡叢過形成による水頭症を合併した 9p テトラソミーモザイクの 1 例
P1-007	舞鶴賀奈子	天理よろづ相談所病院小児科	肺動脈狭窄症に起因する後天性 von Willebrand 病（VMD）を合併した 18 トリソミーの 1 例

一般演題（ポスター）2：遺伝・遺伝子異常 1

P2-008	木住野達也	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科ゲノム機能解析分野	プラダー・ウィリー症候群のマウス責任領域におけるに新規インプリンティング遺伝子の同定とその表現型解析
P2-009	沖村聖人	東北大学医学部小児科	新規 TNRC6B 変異を同定した症候性 West 症候群の一例
P2-010	田浦喜裕	京都府立医科大学小児科	細胞内輸送障害に着目した STXBP1 脳症の病態解明
P2-011	林　　亮	埼玉医科大学総合医療センター小児科	脳内石灰化を合併した Neurodevelopmental disorder with spastic diplegia and visual defects の 1 例
P2-012	池川　環	神奈川県立こども医療センター神経内科	当院における tubulinopathy の遺伝子別の表現型の特徴について
P2-013	柿本　優	東京大学医学部附属病院小児科	先天性多発性関節拘縮症の児を契機に ZC4H2 異常症と診断された親子例
P2-014	川口達也	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科	肥満細胞症を合併した CBL 遺伝子の病的バリアントによるヌーナン症候群の 1 例
P2-015	下村育史	鹿児島大学病院小児科	PNKP 遺伝子変異による小頭症に頭蓋骨早期癒合を合併した 1 例
P2-016	山下朋代	大阪公立大学大学院医学研究科臨床遺伝学	有馬症候群の診断プロセスにおける遺伝カウンセリングの経験
P2-017	西條晴美	東京都立東大和療育センター小児科	FOXG1 遺伝子に短縮型変異を認めた FOXG1 症候群成人例の臨床的特徴と治療経験
P2-018	平良遼志	九州大学小児科	特徴的な発達経過とてんかん発作を示した DLG4 関連疾患の女児例
P2-019	林　泰壽	浜松医科大学小児科	大頭症と知的障害を呈した TRIO 遺伝子異常症の 1 例
P2-020	大澤由記子	東京都立多摩北部医療センター小児科	TBR1 遺伝子に新規バリアントを認めた精神運動発達遅滞の 1 例

一般演題（ポスター）3：先天異常，神経皮膚症候群 1

P3-021	谷口直子	兵庫医科大学小児科	運動機能障害の緩やかな進行を契機に診断に至ったPOLR1C 遺伝子変異による Pol III 関連白質ジストロフィーの一例
P3-022	橋本和彦	佐世保市総合医療センター小児科	多発性嚢胞腎と焦点てんかんを認めた TSC2/PKD1 隣接遺伝子症候群の 1 例
P3-023	玉田智子	広島県立障害者リハビリテーションセンター小児科	重度の貧血を認めた ATR-X 症候群の一例
P3-024	小川恵梨	慶應義塾大学医学部小児科	神経線維腫症 1 型患者における学童期の課題

一般演題（ポスター）4：新生児・早産児・周産期脳障害 1

P4-025	竹内章人	国立病院機構岡山医療センター新生児科	早産児における出生時頭囲と正期産相当時期の脳容積の関連
P4-026	瑞木　匡	京都府立医科大学小児科	新生児における脳灌流圧と trans systolic time の関係について
P4-027	笹尾丞子	国立成育医療研究センター	新生児期から理学療法介入を行った総排泄腔遺残症の児

一般演題（ポスター）5：発達 1

P5-028	（演題取り下げ）		
P5-029	満田直美	高知大学医学部環境医学	胎盤重量/出生体重比と 3 歳時の精神神経発達の関連 ―子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）より―
P5-030	後藤康平	社会医療法人親仁会米の山病院	新生児期に入院加療されたハイリスク新生児の知的発達に関する検討

一般演題（ポスター）6：ADHD 1

P6-031	山下雅俊	福井大学子どものこころの発達研究センター	子ども発達脳プロジェクト ―多機関共同と多面的評価による ADHD と ASD の病態解明とバイオマーカーの確立に向けて―
P6-032	松本貴子	市立芦屋病院小児科	ADHD 薬内服後に知能指数が上昇した症例
P6-033	濱谷沙世	福井大学子どものこころの発達研究センター	子どもの ADHD に対するインターネット認知行動療法の開発実装戦略

一般演題（ポスター）7：自閉症スペクトラム障害 1

P7-034	佐藤　彩	国立障害者リハビリテーションセンター研究所脳機能系障害研究部発達障害研究室	自閉スペクトラム症者の聴覚的空間認知機能に関わる予備的研究
P7-035	下村英毅	兵庫医科大学小児科学	自閉スペクトラム症の早期兆候についての解析：エコチル調査

一般演題（ポスター）8：学習障害 1

P8-036	奥村安寿子	東京大学大学院総合文化研究科進化認知科学研究センター	特異的読字障害の診断基準：4 年間の縦断追跡経過に基づく検証と再考

一般演題（ポスター）9：発達障害：その他一般 1

P9-037	杉浦信子	島田療育センターはちおうじ児童精神科	ギフテッドの子どもたちの日常生活における QOL 実態調査
P9-038	小沢　浩	島田療育センターはちおうじ神経小児科	母子の生活環境採点法における項目の比較検討

一般演題（ポスター）10：発達障害の療育・支援・福祉 1

P10-039	井上美智子	国立病院機構南岡山医療センター小児神経科	特別支援学校における医療的ケア指導医としての取り組み
P10-040	小沢愉理	島田療育センターはちおうじ神経小児科	島田療育センターはちおうじにおける移行後の患者への移行医療に関するアンケート結果
P10-041	古山香里	札幌市子ども発達支援総合センター小児科	運動発達の遅れを主訴として初診した幼児の転機についての検討
P10-042	本島敏乃	本島総合病院小児科	神経発達外来を受診した神経発達症の診療期間と医療的ニーズに関する検討
P10-043	松尾光弘	長崎県立こども医療福祉センター小児科	発達障害児の初診時長期待機の解消に向けた取り組み
P10-044	中西真理子	大阪大学大学院連合小児発達学研究科	3 歳未満における早期発達診断が児と養育者に与える影響の調査
P10-045	山下未央	長崎県立こども医療福祉センター	地域療育連携外来による初診前療育開始の取り組み
P10-046	井上大嗣	長崎県立こども医療福祉センター	ペアレント・トレーニングと家族機能
P10-047	森山　薫	長崎県立こども医療福祉センター	発達障害児の初診待機期間短縮に向けた地域施設との連携に関する調査報告
P10-048	宮内波奈	大阪大学医学部医学科	大阪府の乳幼児健診における神経発達症スクリーニングの現状と課題

一般演題（ポスター）11：脳性麻痺

P11-049	大吉由希美	東京都立府中療育センター小児科	重症心身障害児者に対するビフィズス菌製剤とオリゴ糖投与の効果
P11-050	梅津英典	弘前大学病院小児科	当施設で経験したバクロフェン髄注療法を導入した重度脳性麻痺 5 例の検討
P11-051	橋本梨沙	東京都立府中療育センター小児科	重症心身障害児（者）の近年の死因に関する検討

一般演題（ポスター）12：てんかん：診断・遺伝子 1

P12-052	大熊こずえ	杏林大学医学部小児科	脱力発作を契機に診断に至った KBG 症候群の 1 例
P12-053	三輪真子	聖路加国際病院小児科	非定型欠神発作，音過敏，視覚優位の発達特性を認めた Poirier-Bienvenu 神経発達症候群の 1 例
P12-054	長田華奈	神奈川県立こども医療センター	運動発作疑いで当院へ紹介された 1 歳未満の乳児の最終診断についての検討
P12-055	太田穂高	地方独立行政法人三重県立総合医療センター	発作時脳波が有用であった焦点てんかんの 12 歳男児例

一般演題（ポスター）13：てんかん：治療 1

P13-056	江口勇太	広島大学病院小児科	ペランパネルにより強制正常化を来した 1 例
P13-057	生田陽二	東小金井小児神経・脳神経内科クリニック	小児欠神てんかんに対して有効な薬剤と患者背景に関する検討
P13-058	木許恭宏	宮崎大学医学部小児科	ラコサミドを使用した薬剤抵抗性てんかんの乳児例
P13-059	秋庭崇人	順天堂大学小児科	ACTH 療法を複数回行った West 症候群の発作予後についての検討
P13-060	所谷知穂	高知医療センター小児科	てんかん性脳症に対してラコサミド併用療法が有効であった姉妹例
P13-061	大西希咲	エーザイ株式会社	Lennox-Gastaut 症候群に伴うてんかん発作に対するペランパネルの有効性・安全性：無作為化プラセボ対照及び非盲検延長試験
P13-062	林田拓也	長崎県立こども医療福祉センター	神経発達症を合併したてんかんに対するラコサミドとペランパネル：精神症状の観点から
P13-063	関　衛順	国立病院機構西新潟中央病院神経小児科	転倒発作に対する脳梁離断術の成績に関しての検討
P13-064	佐々木満ちる	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科	Leigh 症候群に合併したてんかん性スパズムに対する治療内容の検討
P13-065	大滝里美	埼玉医科大学病院小児科	てんかん外科手術によって発作が消失した，皮質形成異常を伴った薬剤抵抗性前頭葉てんかんの 2 例

一般演題（ポスター）14：てんかん：その他 1

P14-066	佐野史和	山梨大学医学部薬理学	Astrocytic Ca^{2+} signals precedes epileptiform activity
P14-067	馬場悠生	独立行政法人国立病院機構南九州病院小児科	熱性けいれんで入院を要した児の検討
P14-068	犬塚　幹	佐世保中央病院小児科	心因性非てんかん性発作を契機に知的発達の遅れが判明したてんかんの 2 例

一般演題（ポスター）15：代謝性疾患 1

P15-069	渡辺好宏	横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター	広範な頭部皮下血腫を認めた Menkes 病の 1 例
P15-070	出納達也	昭和大学医学部小児科	脳梁低形成・脳室拡大を伴う PDHC 欠損症の女児例
P15-071	大久保幸宗	宮城県立こども病院神経科	ミトコンドリア ATP6 変異による MELAS/Leigh overlap 症候群の一例
P15-072	相原健志	国立成育医療研究センター	髄液糖・血糖比の低下を認めなかったグルコーストランスポーター 1 欠損症の 2 例

一般演題（ポスター）16：神経変性疾患 1

P16-073	藤田貴子	福岡大学医学部小児科	オナセムノゲン アベパルボベク投与後，RS ウイルス感染をきっかけに急性肝不全をきたした脊髄性筋萎縮症 I 型の 1 例
P16-074	巨田元礼	福井県立病院小児科	遺伝子治療までにリスジプラム投与を行った脊髄性筋萎縮症 II 型の治療経験
P16-075	島　盛雅	大阪母子医療センター小児神経科	ヌシネルセンからリスジプラムへの治療薬変更を試みた年長の脊髄性筋萎縮症進行例の 2 例

一般演題（ポスター）17：末梢神経 1

P17-076	幅 あずさ	岐阜大学大学院医学系研究科小児科	SARS-CoV-2 ワクチン接種後に両上肢の進行性筋力低下を呈した，慢性炎症性脱髄性多発神経炎の男子例

一般演題（ポスター）18：筋 1

P18-077	河合泰寛	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科	先天型・小児型筋強直性ジストロフィーの脳 MRI についての検討
P18-078	平出拓也	浜松医科大学小児科	*RYR1* にミスセンスバリアントを認めた軽微な運動後筋痛のみを示す高 CK 血症の家族例
P18-079	安井ひかり	済生会横浜市東部病院小児科	運動誘発性周期性四肢麻痺を反復し，不可逆的な歩行障害を呈した Andersen-Tawil 症候群の男児例
P18-080	漆畑　伶	国立精神・神経医療研究センター脳神経小児科	Deep intron 領域の変異によるデュシェンヌ型/ベッカー型筋ジストロフィーの検討
P18-081	伊藤祐介	浜松医科大学小児科	CK 値の再上昇を認めた免疫介在性壊死性ミオパチーの 1 例
P18-082	今泉太一	川崎市立多摩病院小児科	ラコサミドがミオトニアに有効であった先天性パラミオトニアの母子例
P18-083	島崎　敦	国立病院機構長崎医療センター小児科	一側前腕と手掌の萎縮・筋力低下から診断に至った Klippel-Feil sydrome の 1 例

一般演題（ポスター）19：血管障害 1

P19-084	園田有里	九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野	先天性心疾患のフォローアップ中に硬膜動静脈瘻と診断された 21 trisomy の 6 歳女児
P19-085	畑井恵理子	九州大学病院小児科	もやもや病と高度の腎血管性高血圧を示した線維筋性異形成症の 1 歳男児
P19-086	塚原理恵	岡山大学病院小児神経科	皮膚所見を伴い鑑別に苦慮した Cerebral proliferative angiopathy の男児例
P19-087	那須野 将	長野県立こども病院神経小児科	小児脊髄梗塞 3 例における臨床経過の検討
P19-088	高橋吾朗	済生会宇都宮病院小児科	新生児動脈性脳梗塞に対して減圧開頭術が有効だった 1 例

一般演題（ポスター）20：急性脳炎・脳症（自己免疫性脳炎を除く）1

P20-089	赤峰　哲	福岡市立こども病院小児神経科	高サイトカイン血症が遷延し長期に免疫療法を必要とした急性壊死性脳症の 1 歳男児例
P20-090	伊波勇輝	横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター	遷延する小脳失調に対し TRH 療法が有効であったサポウイルス 1 型による急性小脳炎の 1 例

一般演題（ポスター）21：自己免疫性脳炎 1

P21-091	平井宏子	富山大学小児科	急性散在性脳脊髄炎の治療後に，非特異的な症状で発症した多発性硬化症の女児例
P21-092	石井邦哉	埼玉医科大学総合医療センター小児科	Longitudinally extensive transverse myelitis を来した抗 MOG 抗体関連疾患の 1 例－症例報告と初期の鑑別診断における文献的考察
P21-093	織田海秀	浜松医科大学小児科	初発後 6 か月後に再燃し，大脳皮質優位の浮腫と微小出血巣の新規出現が 2 か月持続し，中枢神経限局性血管炎と考えられた 1 例
P21-094	森田俊平	東京都立墨東病院小児科	川崎病に MOG 抗体関連急性散在性脳脊髄炎（ADEM）を合併した一例

一般演題（ポスター）22：感染，免疫（急性脳炎・脳症を除く）1

P22-095	木越　悠	ヤンセンファーマ株式会社	Nipocalimab の小児 gMG 患者を対象とした Vibrance-mg 試験及び日本人健康成人を対象とした第 1 相試験
P22-096	矢崎耕太郎	大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学	乳児期発症重症筋無力症に対し，ステロイド減量目的に 2 歳でタクロリムスを導入した女児例
P22-097	徳永沙知	兵庫医科大学小児科	小児期発症重症筋無力症の治療経過の検討
P22-098	中尾理沙	長崎大学病院小児科	エトスクシミドによる薬剤誘発性に混合性組織病を呈した一例
P22-099	新戸瑞穂	帝京大学医学部小児科	ヒトメタニューモウイルス感染を契機とした meningitis-retention syndrome の 1 例
P22-100	矢野珠巨	秋田大学医学部小児科	自己免疫の関与が疑われる Adie 瞳孔の女児例

一般演題（ポスター）23：不随意運動，基底核疾患 1

P23-101	渡部功之	獨協医科大学小児科	日常生活で気が付かれにくかった発作性運動誘発性ジスキネジア（PKD）の症例
P23-102	尾上幸子	枚方総合発達医療センター小児科	遅発性症候群としてゾニサミドによるジスキネジア，ガバペンチンによるジストニアを呈した重症心身障害者
P23-103	山田　慧	国立病院機構西新潟中央病院神経小児科	GRIA3 遺伝子バリアントを有する驚愕病の一例
P23-104	児玉香織	宮城県立こども病院神経科	ADCY5 遺伝子の体細胞モザイク変異による発作性非運動誘発性ジストニアの 1 例
P23-105	助崎あきら	公立昭和病院小児科	頭蓋内多発出血後に Paroxysmal tonic downgaze に続発する Paroxysmal tonic upgaze を呈した乳児例

一般演題（ポスター）24：睡眠障害 1

P24-106	中村拓自	佐賀大学医学部小児科	遷延する過眠期の短縮にステロイドパルスが有効であった Kleine-Levin 症候群の一例
P24-107	河野　修	帯広厚生病院小児科	周期性発熱・アフタ性口内炎・咽頭炎・リンパ節炎症候群の発熱のエピソードのたびに睡眠時遊行症を呈した 12 歳男児
P24-108	永谷文代	大阪大学大学院連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター	睡眠と幼児の視線計測装置を用いた人への興味の関連性の検討
P24-109	小野あずさ	大阪大学大学院連合小児発達学研究科	幼児期早期の睡眠と脳機能発達 ―体動量の観点から―

一般演題（ポスター）25：栄養，内分泌，中毒 1

P25-110	甲州希理	自治医科大学小児科	急性脳症との鑑別を要した CYP2C19＊3/＊3 遺伝子多型のフェニトイン中毒の一例

一般演題（ポスター）26：災害・COVID-19 1

P26-111	葛西真梨子	さいたま市民医療センター	オミクロン株流行下で SARS-CoV-2 感染症が先行したけいれん重積型急性脳症の一例
P26-112	石田航平	市立釧路総合病院	COVID-19 による急性脳腫脹型脳症の 2 歳女児例
P26-113	家守章子	九州大学小児科	COVID-19 にともなう軽症急性脳症の 8 歳男児
P26-114	伊東竜也	弘前大学小児科	COVID-19 感染により両側線条体壊死を伴う急性脳症を発症した 1 例
P26-115	三谷　納	福山市民病院小児科	新型コロナウイルス（COVID-19）関連急性脳症における問題点 ―家族と医療従事者とのコミュニケーションの難しさ―
P26-116	平崎智也	加古川中央市民病院小児科	当院での COVID-19 における熱性けいれんの特徴
P26-117	赤星進二郎	国立病院機構鳥取医療センター小児科	Covid-19 第 7 波流行下で発生した重症心身障害病棟クラスター発生への対応と問題点
P26-118	八木夏希	前橋赤十字病院小児科	COVID-19 流行下における年長児の熱性けいれん
P26-119	井上賢治	滋賀県立小児保健医療センター	基礎疾患を持つ COVID-19 患者に対する排痰補助の取り組み
P26-120	吉田　登	順天堂大学練馬病院小児科	COVID-19 流行が小児神経患者受診に与える影響
P26-121	河野千佳	島田療育センター	長期入所施設における新型コロナウイルス感染症 24 例のクラスターの経過と感染対策における課題
P26-122	林 佳奈子	東京医科大学小児科・思春期科分野	新型コロナワクチン接種後に解離性神経症状反応と考えられる症状をきたした 2 小児例

一般演題（ポスター）27：その他 1

P27-123	日隈のどか	昭和大学病院小児科	医療的ケア児支援法と教育現場 ―東京都城南地区における，養育者と教育機関へのアンケート調査を通して―
P27-124	占部良介	帝京大学医学部小児科	当科における検査時の静注鎮静薬の使用状況についての検討
P27-125	眞下秀明	東京都立神経病院神経病院神経小児科	神経系疾患の成人移行期支援の課題 ―地域連携の強化のために―

フリーディスカッション　5 月 26 日（金）11:55〜12:35　演題番号の末尾が奇数の発表者
5 月 26 日（金）15:50〜16:30　演題番号の末尾が偶数の発表者

一般演題（ポスター）28：染色体異常（CGH アレイ異常含む）2

P28-001	柳下友映	東京女子医科大学	Potocki-Lupski 症候群家族会支援
P28-002	町田　修	東京女子医科大学小児科	MAGI1 を含む 3p14 微細欠失の 2 例
P28-003	永井康平	自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科	難治てんかんを合併した 4 番染色体長腕欠失の 1 例

一般演題（ポスター）29：遺伝・遺伝子異常 2

P29-004	倉橋宏和	愛知医科大学医学部小児科	TMEM151A 変異を認めた発作性運動誘発ジスキネジアの兄妹例
P29-005	近藤秀仁	京都第一赤十字病院	乳児期発症のてんかんと重度発達遅滞を合併し，TUBB2A 遺伝子に新規変異を認めた 1 例
P29-006	堅田有宇	東北大学病院小児科	MeCP2 の C 末端における新規ナンセンス変異により発達性てんかん性脳症をきたした女児例
P29-007	石垣英俊	浜松医科大学小児科	眼球運動障害と視反応不良を契機に 8 か月時に診断した GABRB2 に病的バリアントを有する発達性てんかん性脳症の 1 男児例
P29-008	松岡太朗	京都府立医科大学附属病院小児科	ERCC8 に新規スタート喪失変異を認めたコケイン症候群の 1 例
P29-009	百崎　謙	国立病院機構熊本再春医療センター小児科	KARS1 関連白質ジストロフィーの兄妹例
P29-010	高木篤史	日本医科大学小児科	脊髄脂肪腫を合併した KBG 症候群の 1 女児例
P29-011	乾　健彦	宮城県立こども病院	鎌状動脈洞，後頭静脈洞遺残を呈した MCTT（MN1 C-terminal truncation）症候群の一例
P29-012	宮本　健	浜松医療センター小児科	DHX30 遺伝子異常による精神運動発達遅滞の女児例
P29-013	中村雅也	三重大学医学部付属病院小児科	MECP2 遺伝子ヌル変異を有し最重度精神運動発達遅滞を呈する男児例
P29-014	里　龍晴	長崎大学病院小児科	KIF14 遺伝子変異による primary microcephaly20 の 1 例
P29-015	家田大輔	名古屋市立大学大学院医学研究科小児科	全ゲノム解析・網羅的 DNA メチル化解析にて診断に至った ATRX 症候群の兄弟例
P29-016	山本崇裕	岐阜大学大学院医学系研究科小児科	キアリ奇形 I 型を合併した Houge 型 X 連鎖知的発達障害症候群の 1 例
P29-017	阿部　裕	鶴岡市立荘内病院小児科	特徴的な表出性言語障害を伴う SETBP1 Haploinsufficiency Disorder の 1 例

一般演題（ポスター）30：先天異常，神経皮膚症候群 2

P30-018	小林　悠	国立病院機構西新潟中央病院神経小児科	結節性硬化症における死亡例 3 例の検討
P30-019	松藤まゆみ	鹿児島市立病院小児科	当院における結節性硬化症の臨床的検討
P30-020	青山弘美	千葉県こども病院神経科	運動発達遅滞を認め，呼吸不全を契機に診断に至った点状軟骨異形成症の一例
P30-021	和田真子	あいち小児保健医療総合センター神経科	キアリ奇形の合併なく脊髄空洞症を呈した CREBBP 遺伝子による Rubinstein-Taybi 症候群の一例

一般演題（ポスター）31：新生児・早産児・周産期脳障害 2

P31-022	難波由喜子	心身障害児総合医療療育センター小児科	分娩に関連した重度脳性麻痺児の頭部 MRI 受傷タイプと出生週数
P31-023	竹尾俊希	安城更生病院小児科	無症状であった脳静脈洞血栓症の早産児 2 例
P31-024	大萱俊介	愛知県医療療育総合センター中央病院	当院での NICU 後方支援病床の実績
P31-025	緒方怜奈	国立病院機構小倉医療センター	極低出生体重児が 6 歳までに示す神経発達の変動：単一施設コホート

一般演題（ポスター）32：発達 2

P32-026	本田真美	医療法人社団のびたみくりキッズくりにっく	小児神経科医によるクリニックでできる乳幼児発達支援
P32-027	隈井すみれ	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	肝移植を受けた胆道閉鎖症の小児の発達予後

一般演題（ポスター）33：ADHD 2

P33-028	内田智子	千葉大学大学院医学研究院小児病態学	経頭蓋直流電流刺激（tDCS）が注意欠如・多動性障害の作業記憶（ワーキングメモリ）に及ぼす影響について
P33-029	柏木　充	市立ひらかた病院小児科	注意欠如・多動性障害の治療経過
P33-030	渡邉恵里	川谷医院	リスデキサンフェタミンメシル酸塩を処方した注意欠如多動症 22 例の検討
P33-031	島川修一	大阪医科薬科大学病院小児科	ADHD 症例に対する lisdexamfetamine dimesylate の使用経験

一般演題（ポスター）34：自閉症スペクトラム障害 2

P34-032	和田恵子	東京小児療育病院小児科	5 歳未満でリスペリドンを使用した神経発達症例について
P34-033	河原みどり	大阪大学大学院連合小児発達学研究科	自閉スペクトラム症児のノンレム睡眠における睡眠紡錘波の出現パターンの解析

一般演題（ポスター）35：学習障害 2

P35-034	杉江陽子	葵町こどもクリニック	読字障害の診断に関する検討：「実践ガイドライン」に基づく診断過程での課題点について
P35-035	福井美保	大阪医科薬科大学小児科	極低出生体重児における書字の問題について

一般演題（ポスター）36：発達障害：その他一般 2

P36-036	瀧沢裕司	独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院小児科	診断に苦慮した重症心身障害児・者における絞扼性腸閉塞の 1 例
P36-037	村田絵美	大阪大学大学院連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター	神経発達症児の乳幼児期の睡眠に関する後方視的調査（中間報告）

一般演題（ポスター）37：発達障害の療育・支援・福祉 2

P37-038	本山和徳	社会福祉法人みさかえの園あゆみの家小児科	神経発達症の就労に関する検討
P37-039	川谷正男	福井県こども療育センター小児科	コロナ禍における神経発達症の医療と教育の連携についての現状と課題
P37-040	松井美華	熊本県こども総合療育センター	神経発達症外来における大人と子どもの絆を深めるプログラム（Child-Adult Relationship Enhancement：CARE）の取り組み
P37-041	牧野道子	東京小児療育病院小児科	当院における Rett 症候群の療育支援の現況と課題

一般演題（ポスター）38：自律神経，頭痛

P38-042	多田弘子	千葉県済生会習志野病院小児科	再発性有痛性眼筋麻痺性ニューロパチーと考えられた 7 歳女児例
P38-043	大橋裕子	イムス三芳総合病院小児科	起立性調節障害との鑑別を要した脳脊髄液減少症の 3 例
P38-044	樋口　司	長野県立こども病院総合小児科	当科における頭痛外来開設前の頭痛患者の特徴
P38-045	桑名駿介	高知大学医学部附属病院小児科	再発を繰り返している右動眼神経麻痺の 1 例
P38-046	岡田　悠	みくりキッズくりにっく	自律神経失調症児に対する発達特性をふまえた多職種連携の必要性

一般演題（ポスター）39：てんかん：診断・遺伝子 2

P39-047	田島大輔	唐津赤十字病院小児科	Myoclonic epilepsy in infancy 6 例の検討
P39-048	齋藤千尋	千葉大学医学部附属病院小児科	RORB を含む 9q21.13 微細欠失によるてんかん症候群の 1 例
P39-049	金川温子	加古川中央市民病院小児科	GABRB3 変異を有する発達性てんかん性脳症の 1 例
P39-050	白井謙太朗	土浦協同病院小児科	PHACTR1 遺伝子の欠失により Dravet 症候群と類似した症状を呈した発達性てんかん性脳症の 1 例
P39-051	比屋根真彦	沖縄赤十字病院小児科	CHD2 変異をもち，視覚誘発性発作を伴う難治性てんかん，自閉症の男児例
P39-052	東　慶輝	愛知医科大学小児科	全エクソーム解析で IRF2BPL 遺伝子変異を同定した West 症候群の一例
P39-053	植松有里佳	東北大学病院小児科	頭部 MRI で中心被蓋路と大脳白質に異常所見を呈した SCN8A 遺伝子異常症の一例
P39-054	福田光成	東京都立神経病院神経小児科	東京都立神経病院神経小児科におけるビデオ脳波モニタリングの現状
P39-055	沢石由記夫	秋田県立医療療育センター小児科	伴性潜性遺伝と考えられる特異な後頭葉てんかんの家系

一般演題（ポスター）40：てんかん：治療 2

P40-056	本井宏尚	横浜市立大学附属市民総合医療センター	当院における薬剤抵抗性てんかんに対するペランパネルの有効性の検討
P40-057	今村　淳	岐阜県総合医療センター小児科	当科でのペランパネルの使用経験 ―4 歳未満の薬剤抵抗性てんかんを含めて―
P40-058	吉川遥菜	済生会宇都宮病院	当院における思春期女性のバルプロ酸使用について
P40-059	渡邉誠司	伊豆医療福祉センター小児科	AMPA 型グルタミン酸受容体非競合型拮抗薬フィコンパの使用経験
P40-060	杉　海秀	愛媛県立中央病院小児科	てんかん性スパズムに対し，ステロイド療法が有効であった一例
P40-061	高橋孝治	土浦協同病院小児科	難治性てんかんに対して大量フェノバルビタール療法を行った重症心身障がい児の一例
P40-062	藤本　遼	千葉県こども病院神経内科	当院における Dravet 症候群の検討
P40-063	黒岩ルビー	ドラベ症候群患者家族会	コロナ禍における Dravet 症候群患者の生活とミダゾラム口腔液使用状況の実態調査
P40-064	竹中　暁	岡山大学病院小児神経科	結節性硬化症を背景とした焦点てんかんの生後 2 か月児に対する早期てんかん外科治療の 1 例
P40-065	三浦雅樹	国立病院機構西新潟中央病院神経小児科	当科における結節性硬化症患者のてんかん長期経過について
P40-066	中田　悠	兵庫県立尼崎総合医療センター小児脳神経内科	全脳梁離断術が奏功した徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症の一幼児例
P40-067	田中亮介	旭川医科大学小児科	局在性てんかん放電を示した欠神てんかん症例の特徴
P40-068	石岡梨紗子	大阪市立総合医療センター小児脳神経内科	後方脳梁離断を施行した両側後頭葉てんかんの 1 例

一般演題（ポスター）41：てんかん：その他 2

P41-069	守口絵里	京都光華女子大学健康科学部看護学科	QOLCE－Js52 を用いたてんかんをもつ子どもの QOL に影響を及ぼす因子に関する検討
P41-070	岡崎　伸	大阪市立総合医療センター小児脳神経内科	てんかん PHR と連動した専用アプリ nana-medi を用いたオンライン診療
P41-071	森　篤志	滋賀県立小児保健医療センター	けいれん発作により大腿骨骨折を生じた小児の 2 例
P41-072	伊藤　進	東京女子医科大学小児科	てんかん，熱性けいれんのある乳幼児における保育所通園，保護者就業についての全国アンケート調査
P41-073	熊谷公明	横浜総合病院小児科	地域総合病院での過去20年間の小児神経疾患の疫学的研究 その2 けいれん性疾患を中心に

一般演題（ポスター）42：電気生理（脳波，筋電図，脳磁図など）

P42-074	飯村康司	順天堂大学脳神経外科	定量的脳波解析によるてんかん性スパズムに対する術前発作予後予測
P42-075	田丸　径	山梨大学医学部小児科	てんかん児の前頭部 12 Hz slow spindle の特徴 ―脳波周波数解析による電気生理学的検討―
P42-076	伊予田邦昭	福山市こども発達支援センター	発達障害特性をもつ就学前幼児にみられる過剰睡眠紡錘波の検討

一般演題（ポスター）43：画像

P43-077	榊原崇文	奈良県立医科大学小児科	軽微な外傷後に発症した抗糖脂質抗体陽性の急性横断性脊髄炎の 1 例
P43-078	石井隆大	久留米大学医学部医学科小児科学講座	当院における結節性硬化症の画像タイプ別の検証
P43-079	小池研太朗	国立成育医療研究センター神経内科	頭部造影 MRI で動眼神経の造影効果を認めた再発性有痛性眼筋麻痺性ニューロパチーの 3 例

一般演題（ポスター）44：代謝性疾患 2

P44-080	渋谷守栄	東北大学病院小児科	腸管炎症を呈した同一ミトコンドリア遺伝子変異を有する Leigh 脳症の 2 例
P44-081	衞藤　薫	東京女子医科大学小児科	乳児期発症の肥大型心筋症，筋力低下，易疲労性を呈し，ACAD9 新規バリアントを認めた男児例
P44-082	向野文貴	山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座	片親性ダイソミーによる神経セロイドリポフスチン症 1 型の女児例
P44-083	黒田文人	金沢大学附属病院小児科	近位筋優位の筋力低下のみを呈したミトコンドリア遺伝子 3243 変異を持つ 6 歳男児例
P44-084	石井和嘉子	日本大学医学部小児科	完全房室ブロックから心停止を来した Kearns-Sayre 症候群の 1 例
P44-085	**演題取り下げ**		
P44-086	森地振一郎	東京医科大学小児科・思春期科学分野	病理解剖を行った乳児型 Tay-Sachs 病の 8 歳女児例

一般演題（ポスター）45：神経変性疾患 2

P45-087	弓削康太郎	久留米大学小児科	重度側弯があるにもかかわらず治療薬を risdiplam から nusinersen へ戻した脊髄性筋萎縮症 2 型の成人例
P45-088	渡辺美緒	群馬県立小児医療センター神経内科	リスジプラム投与を開始した脊髄性筋萎縮症の 3 例
P45-089	六本木温子	群馬県立小児医療センターリハビリテーション課	ヌシネルセン投与を行っている脊髄性筋萎縮症 1 型のスイッチ操作における数量的評価
P45-090	夏目岳典	長野県立こども病院神経小児科	ヌシネルセンからリスジプラムに変更した脊髄性筋萎縮症の 2 症例の検討

一般演題（ポスター）46：末梢神経 2

P46-091	下田木の実	東京大学医学部小児科	NEMF 遺伝子異常により運動神経障害と中枢神経障害を呈した症例
P46-092	向井昌史	大阪大学大学院医学系研究科小児科学	乳児期から重度の精神運動発達遅滞を認めた Charcot-Marie-Tooth 病 2Z 型の一例
P46-093	竹田洋子	奈良県立医科大学小児科	ヒトパレコウイルス 1 型，サイトメガロウイルスの混合感染を認めた Guillain-Barre syndrome の 1 例

一般演題（ポスター）47：筋 2

P47-094	野村勇樹	トヨタ記念病院小児科	早産で出生し生後より血清クレアチンキナーゼ値の推移を追跡した Duchenne 型筋ジストロフィーの 1 例
P47-095	傍島宏貴	滋賀医科大学小児科	低血糖により急死した筋強直性ジストロフィーの 3 歳男児例
P47-096	服部文子	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター小児科	胃瘻造設の決断に難渋したデュシェンヌ型筋ジストロフィーの一例
P47-097	石原万理子	滋賀県立小児保健医療センター小児科	患者本人への病状説明がるいそうの改善につながった Duchenne 型筋ジストロフィーの一例

一般演題（ポスター）48：血管障害 2

P48-098	浅見麻耶	岩手医科大学小児科	転倒を契機に下肢脱力で発症した頚髄梗塞の小児例
P48-099	原口康平	長崎大学病院	Carotid web による小児脳梗塞の 1 例
P48-100	渡辺圭介	秋田大学医学部附属病院	軽微な頭部外傷を契機に広範な微小血管障害を生じた COL4A1 異常症の小児例

一般演題（ポスター）49：急性脳炎・脳症（自己免疫性脳炎を除く）2

P49-101	上野雄司	福岡市立こども病院	難治性てんかん重積状態を発症し，MRI 上で遅発性拡散能低下を認めた Sturge-Weber syndrome type 3 の男児
P49-102	小野馨子	順天堂大学医学部附属浦安病院臨床研修センター	甲状腺クリーゼに合併した可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎・脳症（MERS）の 1 例
P49-103	高須倫彦	群馬県立小児医療センター神経内科	一相目の直後から大脳皮質局所症状を認めたけいれん重積型急性脳症の 1 例
P49-104	跡部真人	あいち小児保健医療総合センター神経内科	高血圧性脳症後に AESD を発症し失語の後遺症を認めた小児の 1 例
P49-105	温井めぐみ	大阪市立総合医療センター小児医療センター小児言語科	左大脳半球病変を伴うけいれん重積型急性脳症による失語症症例の言語機能の推移

一般演題（ポスター）50：自己免疫性脳炎 2

P50-106	板橋　尚	獨協医科大学埼玉医療センター	神経発達症関連症状を呈した視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）の一例
P50-107	山田直紀	大阪市立総合医療センター小児脳神経内科	発症初期に Kleine-Levin 症候群と診断された自己免疫性脳炎の 1 例
P50-108	山田直紀	大阪市立総合医療センター小児脳神経内科	小児における抗神経抗体陰性自己免疫性脳炎と抗 NMDA 受容体抗体脳炎，抗 MOG 抗体脳炎の臨床的検討
P50-109	川口理紗	千葉県こども病院神経科	当院における抗 myelin oligodendrocyte glycoprotein（MOG）抗体関連疾患の検討

一般演題（ポスター）51：感染，免疫（急性脳炎・脳症を除く）2

P51-110	安倍啓介	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	アザチオプリンが奏功した小児期発症全身型重症筋無力症の 1 例
P51-111	品川　穣	群馬大学医学部附属病院小児科	上気道炎症状を伴わない頭痛で発症し，細菌性髄膜炎を合併した蝶形骨洞炎の 1 例
P51-112	豊野美幸	秋田県立医療療育センター	多剤耐性緑膿菌とセパシア菌による難治性肺炎に対してトブラマイシン吸入とメロペネム吸入療法が奏効した重症心身障害児の一例

一般演題（ポスター）52：不随意運動，基底核疾患 2

P52-113	松倉　幹	地域医療機能推進機構九州病院	Lance-Adams 症候群を生じた cardio-facio-cutaneous 症候群の一例
P52-114	山口　亮	千葉県こども病院神経内科	不随意運動と脳内多発石灰化を呈した偽性副甲状腺機能低下症の 1 例
P52-115	本澤志方	東京都立東部療育センター	基底核の融合を示した 3 症例

一般演題（ポスター）53：睡眠障害 2

P53-116	鈴木香織	大阪大学大学院連合小児発達学研究科	閉塞性睡眠時無呼吸児の心拍変動と問題行動の関連性
P53-117	杉江秀夫	葵町こどもクリニック	Restless Abdomen の 1 例：restless legs syndrome（RLS）の多彩な表現型について
P53-118	小俣優子	誠馨会千葉メディカルセンター小児科	重度の睡眠時遊行症にメラトニンが著効した小児の 1 例
P53-119	岩谷祥子	大阪大学大学院連合小児発達学研究科	幼児期早期の睡眠と脳機能発達 ―社会性発達と脳波による脳機能評価―
P53-120	鈴木敏洋	昭和伊南総合病院小児科	メラトニンがフリーランの停止に著効した自閉スペクトラム症を伴う非 24 時間睡眠覚醒リズム障害の一例

一般演題（ポスター）54：栄養，内分泌，中毒 2

P54-121	井之上寿美	島田療育センターはちおうじ神経小児科	ダウン症候群児における血清亜鉛値の検討
P54-122	寺崎英佑	滋賀県立小児保健医療センター小児科	脊髄性筋萎縮症 1 型患者に発症した繰り返す急性膵炎

一般演題（ポスター）55：災害・COVID-19 2

P55-123	東本和紀	島根大学医学部小児科	新型コロナワクチン接種後に急性散在性脳脊髄炎を来した小児例
P55-124	柴田　実	滋賀県立小児保健医療センター	医療的ケアを必要とする患者のコロナ感染
P55-125	伊藤　進	東京女子医科大学小児科	Dravet 症候群，West 症候群の小児における新型コロナウイルス（COVID-19）の感染症，予防接種の実態調査
P55-126	北村太郎	仙台市立病院小児科	仙台での熱性けいれんの季節性変化：新型コロナウイルス流行後への動き
P55-127	露崎　悠	神奈川県立こども医療センター	当院通院中に COVID-19 罹患後に精神・神経症状を呈した小児 14 例の検討
P55-128	高田　献	山梨県立中央病院小児科	山梨県における各変異株流行期の COVID-19 感染に伴う熱性けいれんの検討
P55-129	小泉慎也	同愛記念病院小児科	神経発達症児の新型コロナウイルス感染症罹患はどのように影響したのか？

一般演題（ポスター）56：その他 2

P56-130	中野広輔	愛媛大学教育学部	特別支援教育を志す学校教員が医療職種に望む連携とは
P56-131	野崎章仁	滋賀県立小児保健医療センター小児科	入院中にマダニ刺症を認めた重症心身障害児
P56-132	冨樫紀子	宮城県立こども病院神経科	小児専門病院における神経疾患患者の成人診療科への移行の現状と課題
P56-133	石井雅宏	北九州総合病院小児科	単純型熱性けいれん入院例の検討

International Session（Oral）1：Epilepsy 1

May 25　10:10-11:00　Room 5

Chair　Norimichi Higurashi（Department of Pediatrics, The Jikei University School of Medicine）
Shimpei Baba（Department of Child Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry）

IO1-01	Takahiro Hayashi	Department of Pediatrics, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan	Elucidation of the pathomechanism of NSF-related developmental and epileptic encephalopathy
IO1-02	Ken Ito	Department of Pediatrics, Jikei University School of Medicine	Phenotypic analysis of heterozygous Scn1a knockout rats and the effect of heat-induced seizures in infancy on severity
IO1-03	Sachiko Nakakubo	Department of Pediatrics, Hokkaido University, Sapporo, Japan	Effects of α2/3 subunit selective $GABA_A$ receptor activators in mice model of Dravet syndrome
IO1-04	Yasuyoshi Hiramatsu	Department of Pediatrics, Hokkaido University, Sapporo, Japan	Dynamic statistical parametric mapping（dSPM）MEG to localize the epileptic lesion in MRI-negative focal epilepsy
IO1-05	Gen Furukawa	Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan	An analysis of quantitative susceptibility mapping and clinical data for children with febrile seizures

International Session（Oral）2：Epilepsy 2

May 25　11:00-11:40　Room 5

Chair　Kuriko Shimono（United Graduate School of Child Development, Osaka University）
Susumu Ito（Department of Pediatrics, Tokyo Women's Medical University）

IO2-01	Aarthi Balaji	Dept of Pediatric Neurology, Aster MIMS, Calicut, Kerala, India	Clinico demographic profile of Children with Infantile spasms：A retrospective observational study
IO2-02	Aarthi Balaji	Dept of Pediatric Neurology, Aster MIMS, Calicut, Kerala, India	Clinical spectrum of Refractory Absence Epilepsy：A single center experience
IO2-03	Takeshi Inoue	Department of Pediatric Neurology, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan	Comparing epileptic spasms between 1-2-year-old onset and ＞＝ 2-year-old later onset groups
IO2-04	Kenji Sugai	Departments of Child Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Japan	Long-term seizure and developmental outcomes of Ohtahara syndrome：surgical vs medical treatment

International Session（Oral）3：Neuromuscular Disorders

May 25　14:10-15:10　Room 5

Chair　Yoshiaki Saitou（National Rehabilitation Center for Children with Disabilities）
Masakazu Mimaki（Department of Pediatrics, Teikyo University School of Medicine）

IO3-01	Toru Takaori	Department of Pediatrics, Kitano Hospital, The Tazuke Kofukai Medical Research Institute, Osaka, Japan	Proof-of-consept study of a novel genome editing therapy in Fukuyama congenital muscular dystrophy
IO3-02	Mariko Taniguchi-Ikeda	Department of Clinical Genetics, Fujita Health University Hospital, Aichi, Japan	Antisense oligonucleotide induced pseudoexon skipping for FCMD caused by a deep-intronic variant
IO3-03	Hirofumi Komaki	National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan	Safety and efficacy of ataluren in nmDMD patients, a phase 3, randomized, double-blind, placebo-controlled trial
IO3-04	Hirofumi Komaki	Translational Medical Center, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan	A Phase I/II study of NS-089/NCNP-02, Exon 44 skipping drug, in patients with Duchenne muscular dystrophy
IO3-05	Craig Zaidman	Department of Neurology, Washington University in St. Louis School of Medicine, St. Louis, MO, USA	One-year Data from ENDEAVOR, a Phase 1b Trial of Delandistrogene Moxeparvovec（SRP-9001）in Duchenne Muscular Dystrophy
IO3-06	Craig Zaidman	Department of Neurology, Washington University in St. Louis School of Medicine, St. Louis, MO, USA	Integrated Analyses from Clinical Trials of Delandistrogene Moxeparvovec（SRP-9001）in Duchenne Muscular Dystrophy

International Session（Oral）4：Neurogenetic Disorders

May 25　15:10-16:20　Room 5

Chair　Iori Ohmori　（Faculty of Education, Okayama University）
Toshiyuki Seto　（Department of Medical Genetics, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine）

IO4-01	Shin Nabatame	Department of Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan	Effects of ketogenic diets in adult patients with glucose transporter 1 deficiency syndrome
IO4-02	Yoshihiko Saito	Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan	Application of the Nanopore long-read sequencer to the genetic diagnosis of facioscapulohumeral muscular dystrophy
IO4-03	Tomomi Nakamura	Department of Pediatrics, Mie University Hospital, Mie, Japan	Clinical characteristics and disease progression of PLA2G6-associated neuro degeneration（PLAN）
IO4-04	Kiwako Tsukida	Jichi Medical University Tochigi Japan	Impaired lysosomal acidification is caused by CLN6 variants as pathogenesis in neuronal ceroid lipofuscinosis type 6
IO4-05	Yuji Nakamura	Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences	Spatial transcriptomics of cerebral organoids reveals altered NSC fate decisions in PNPLA8-related microcephaly
IO4-06	Teruyuki Tanaka	Department of Developmental Medical Sciences, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan	Brain-wide identification of altered functional connectivity and neuronal activity in CDKL5 kinase-dead knock-in mice
IO4-07	Shino Shimada	Department of Pediatrics, Juntendo University Shizuoka Hospital, Shizuoka, Japan	Glycan Analysis Reveals Neurodevelopmental Disorders with Intractable Epilepsy：GET4 associated disorder

International Session（Oral）5：Other Neurological Disorders

May 25　17:00-17:50　Room 5

Chair　Hiroyuki Kidokoro（Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine）
Akihito Takeuchi　（Division of Neonatology and Child Neurology, National Hospital Organization Okayama Medical Center）

IO5-01	Anna Shiraki	Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan	Hemoglobin phase of oxygenation and deoxygenation in preterm infants：Developmental trajectory and prognosis
IO5-02	Tomoki Maeda	Department of Pediatrics, Oita University, Oita, Japan	An algorithm for general movements detection in preterm infant using instantaneous heart rate
IO5-03	Tomonori Ono	Epilepsy Center, NHO Nagasaki Medical Center, Omura, Nagasaki, Japan	Direct evidence that age-related change in MRI-DTI in the human corpus callosum represent the development of myelination
IO5-04	Smilu Mohanlal	Aster malabar institute of Medical sciences, Kozhikode, Kerala, India	Therapeutics in spinal muscular atrophy -an initial Indian experience
IO5-05	Ayaka Ohno	Department of Child Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry	A single center study of the natural history of patients with spinal muscular atrophy in Japan

フリーディスカッション　5 月 25 日（木）13:25〜14:05　演題番号の末尾が奇数の発表者
5 月 25 日（木）16:15〜16:55　演題番号の末尾が偶数の発表者

International Session（Poster）1

IP-001	Masamune Sakamoto	Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan	De novo ARF3 variants cause neurodevelopmental disorder with brain abnormality
IP-002	Mitsuo Motobayashi	Nagano Children's Hospital, Azumino, Japan	Efficacy of vigabatrin in an infant with West syndrome due to pyruvate dehydrogenase complex deficiency：A case report
IP-003	Eiji Nakagawa	Department of Epileptology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan	Establishment and Progress of Epilepsy Support Network
IP-004	Yuki Ueda	Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan	Nusinersen induces changes of compound muscle action potential in long-term affected spinal muscular atrophy patients
IP-005	Taku Omata	Division of Child Neurology, Chiba, Japan	Timeline to treatment for one case of spinal muscular atrophy detected at newborn screening
IP-006	Yo Niida	Center for Clinical Genomics, Kanazawa Medical University Hospital, Ishikawa, Japan	Genotype and phenotype landscape of 283 Japanese patients with tuberous sclerosis complex
IP-007	Yukie Arahata	Department of Pediatrics, International University of Health and Welfare Narita Hospital, Chiba, Japan	Polysomnography findings in children with sleep disorders